i C o T o B a 年 報



愛知県立大学グローバル実践教育推進室 年報

第 5 号 2018 (平成 30) 年 3 月 愛知県立大学

i C o T o B a 年 報



愛知県立大学グローバル実践教育推進室 年報

第5号 2018 (平成 30) 年 3 月 愛知県立大学

目次

はじめに		1
1.	グローバル実践教育と iCoToBa	3
2.	iCoToBa での語学教育	5
2.1.	留学前準備講座	5
2.2.	英語コミュニケーション講座	18
2.3	地域コミュニティ言語講座	21
2.4	語学検定対策講座	24
2.5	iContact	27
3.	iCoToBa のイベント	29
4.	グローバルセミナー	39
5.	留学報告会	49
6.	外部・地域との連携事業	51
6.1.	APU-DMO Collaborative Project: The Hidden Charm of Aichi	51
6.2.	世界青少年発明工夫展 2017 での学生ボランティア	51
6.3.	地域ものづくり学生共同プロジェクト	53
7.	学生活動	56
8.	iCoToBa の成果物	58
8.1.	教材開発	58
8.2.	教育活動	59
9.	広報活動	61
9.1.	iCoToBa 公式 Web サイトでの発信	61
9.2.	SNS での発信 (Facebook)	62
9.3.	SNS での発信 (You Tube)	67
9.4.	manaba による情報発信	68
10.	資料	70
10.1.	利用者一覧	70
10.2.	開講授業一覧	
10.3.	授業アンケート集計結果	75
10.4.	iCoToBa 施設訪問者	
10.5.	高等学校の iCoToBa 施設見学	
10.6.	グローバル実践教育推進室会議	
10.7.	グローバル実践教育推進室	
10.8.	2017 年度 iCoToBa イベントポスター	
10.9.	2017 年度 iCoToBa グローバルセミナーポスター	
10.10	2017 年度 iCoToBa 講座ポスター	91

はじめに

熊谷 吉治(グローバル実践教育推進室長・教養教育センター長)

愛知県立大学の iCoToBa(多言語学習センター)は、2012 年度に採択された文部科学省「グローバル人材育成推進事業」の中核を担う施設として、翌年の 4 月に開設された。外国語学部を擁する本学の強みを生かし、新たにネイティブスピーカーの教員やコーディネーター教員を配置するなどして、学生のニーズに合った語学講座や異文化理解促進のための様々なイベント、講演会、セミナーなどが企画・運営された。本学に学びに来た留学生や教養教育センター所属のネイティブ教員も学生との交流や語学指導に関わるなど、活発な学びと交流の場としての機能を果たしてきた。このような活動を支えてくれた優秀な事務スタッフの存在も決して忘れてはならない。

そして、2017 年度に iCoToBa は「全学展開」という大きな変革を迎えることになった。新グローバル人材育成事業として「グローバル実践教育プログラム(Program for Applied Global Education, 略称 PAGE)」がスタートした。全学部生を対象として、地域の諸課題に関心を持ち、課題解決能力や異文化適応能力を備えた多様な人材を引き続き育成していくことになった。所定の科目を修得し、外国語到達目標レベルを満たし、卒業年次に当該プログラムに関わる学修や活動の成果等を iCoToBa で発表した学生には修了証を授与するというものである。

これにより、iCoToBa の存在意義はますます大きくなり、新しい試みが次々と実行に移されていった。具体的には、地域の諸課題に目を向けて学習目標をより具体的に設定した短期語学講座(「地域コミュニティ言語講座」)の開講、専任教員を中心とした講演(グローバルセミナー)の定期的な開催、さらに新しい高大連携事業として、中央日本総合観光機構と協働し、県内の高校生と県大生が愛知の魅力を発掘し、英語で発信する「DMO プロジェクト」の始動などが挙げられる。グローバル実践教育事業でも、英語に限定されず、多言語(仏・西・独・中・韓)で「留学前準備講座」が開講された。これらの試みの実施において、全学部の教員からさまざまなご協力をいただいた。この場を借りてお礼を申し上げたい。

さらに特筆すべきこととして、本年度は東海東京財団から助成金をいただき、iCoToBa の整備や各種講座の開講などが可能になった点が挙げられる。このような篤志を無駄にすることなく、今後も教育の質向上と保証に取り組んでいきたい。

全学化に伴い、多様化する学生へのサポートの改善が今後の課題として浮上しつつある。 今後も試行錯誤を経ながら、iCoToBa を学びやすく、楽しくてドキドキするような場にしていき たいと考えている。今年度の歩みをご高覧いただき、次年度に向けての改善点など、忌憚な いご意見をいただければ幸いである。

1 グローバル実践教育とiCoToBa

2017 年 4 月に、グローバル実践教育推進室が設置され、全学「グローバル実践教育プログラム」および教育施設である iCoToBa (多言語学習センター)の運営を行うことになった。

全学「グローバル実践教育プログラム」開始にあわせて、iCoToBa には新たな役割が求められている。具体的には、これまで行ってきた外国語学部生を対象とした高度な外国語能力を養成するための学習支援に加えて、愛知県をはじめとするグローバル化が進む地域において、各学部の専門性を活かす場における外国人住民とのコミュニケーション能力の養成や多文化共生社会に必要な異文化理解、さまざまな情報を得るための実践的な英語能力の養成などが挙げられる。

以下、グローバル実践教育において、iCoToBa が果たす役割と、本年度の iCoToBa の取り組みについて述べる。

グローバル実践教育プログラム

2017年度に新たに始まった全学「グローバル実践教育プログラム」(学部により19~26単位)では、卒業時に獲得する知識とスキルを8つに定め、それぞれに科目を設置している。

- A. 国際教養
- B. プレゼンテーションスキル
- C. 情報リテラシー
- D. 広義のコミュニケーション力
- E. 異文化適応能力
- F. 課題発見·解決力
- G. マネジメント能力
- H. 外国語能力



また、フィールドワークや PBL などのアクティブラーニングを取り入れ、他学部の専門科目を 履修できるようにすることで、異なる専門性や背景知識を持った人と協力し課題を解決する機 会が設けられており、実践的な学習そのものが異文化理解体験につながるよう工夫されている。

iCoToBa における学習支援

本学のグローバル実践教育を推進し、多文化共生社会で活躍できる力を身につけるために、 iCoToBa では、以下のような外国語学習支援と異文化理解および異文化交流のための活動 を行っている。

1. 外国語学習支援(第2章参照)

目的別、レベル別に 4 種類の語学講座(留学前準備講座、英語コミュニケーション講座、地域コミュニティ言語講座、検定対策講座)と、個別指導を行うiContact(あいこんたくと)を開講している。それぞれの内容を表 1 に示す。

「表 1 iCoToBa における外国語学習支援]

講座名称	内容
留学前準備講座	留学に必要となるアカデミックスキルや、留学先の日常生活に必
	要な知識や会話能力を養成する講座
	(2017年度:英、仏、西、独、中、韓を開講)
英語コミュニケーショ	外国語を専門としない学生も受講しやすいように、CEFR の A1 レ
ン講座	ベルから C1 まで、多様なクラスを設定した講座
地域コミュニティ言語	愛知県を中心とする地域でニーズの高い外国語(ポルトガル語な
講座	ど)を中心に、外国にルーツを持つ人への対応の際に必要な専門
	職業分野に特化した講座
検定対策講座	TOEIC、TOEFL などの対策講座
iContact	外国人教員および留学生による予約制の個別指導

2. 国内外のグローバル・イシューを学ぶ、グローバルセミナー(第4章参照)

本学の専任教員を中心に、国内外のグローバルな文脈における研究や、研究に関連した活動、または、海外生活で得た経験などを紹介するセミナーである。全学教員の協力により、さまざまなテーマを取り上げている。1 回完結型で凝縮された内容を扱っており、学生のみならず教職員の参加も多い。

3. 異文化理解・交流イベント(第3章参照)

外国の文化を紹介・体験するイベントや、本学留学生や近隣機関との交流イベントなどを開催している。異文化を理解し、外国語でコミュニケーションする機会にもなっている。また、これらの多くのイベントは、企画段階から学生も参加しており、学生の自主性や行動力、マネジメント能力育成も目指している。

4. 留学報告会(第5章参照)

学生の留学への動機づけを目指した、留学体験談を聞くイベントである。毎週月曜日の昼休みに開催している。

5. 地域社会と連携した学習機会の提供(第6章参照)

地域産業界や自治体等と連携し、地域社会における課題解決を目指した学習機会や地域でのボランティア活動の機会を学生に提供している。

6. 学生活動の支援(第7章参照)

学生の自主的な活動を貴重な学習経験と捉え、iCoToBa では、学生による企画立案・実施を推奨、サポートしている。現在では、学生の自主グループ iCoToBa Supporters Club (ISC) が組織化され、iCoToBa の運営に積極的に参画している。

2 iCoToBa での語学教育

iCoToBa では、2017 年度より 4 種類の語学講座(留学前準備講座、英語コミュニケーション講座、地域コミュニティ言語講座、検定対策講座)と、個別指導を行う iContact を開講している。2016 年度まで iCoToBa で開講していた外国語学部「グローバル人材プログラム(2016 年度入学生より「グローバル実践教育プログラム」)の指定科目のうち、「日本紹介」「比較文化セミナー」「リサーチ・発信プロジェクト」「「学生共同プロジェクト」の 4 科目は、2017 年度よりすべて外国語学部で開講されることになり、iCoToBa での語学教育の役割が、明確に①留学準備、②全学の英語力の強化、③多文化共生社会に必要となる専門性を活かすための外国語コミュニケーション能力養成にシフトしたと言える。

2017 年度より iCoToBa の語学授業が全学部生対象となったことから、英語コミュニケーション講座では、外国語を専攻としない学生にも学びやすいよう、設置レベルの拡充と、ショートコース(5コマで1コース)の開講をはじめた。

また、愛知県をはじめとする東海地域は、外国人(外国にルーツを持つ人々を含む)が多い地域であり、私たちは社会のあらゆる場面で外国人とのコミュニケーション場面に遭遇する。そこで、2017年度から、将来、看護師、介護士、教師、公務員などを目指す学生を対象に「地域コミュニティ言語講座」を開講することになった。2017年度は、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語の講座を開講した。

以下、2017年度にiCoToBaで開講した授業について報告する。

2.1. 留学前準備講座

【英語】

Presentation Tune Up English Academic Presentation Workshop (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 3rd Period

Objective:

- To understand the basic structure of an English presentation.
- To make presentations easier to understand and more engaging.
- To gain a stronger presence when speaking in front of people.

Course Contents:

This short course picked up important points of presentations in English. We focused on general academic presentation, talking about presentation structure, slide design and presentation techniques, and voice and body language. In the final lesson, student presented short presentations using the techniques learned in class.

End-of-Semester Review:

This course benefited from the enthusiasm of the first-year students of the International and Cultural Studies major, who participated actively and in large numbers. They had the benefit

of learning the basics of English presentations early on in their university careers. It is hoped that these benefits can be expanded to other majors in the future.

The Secret to Good Writing in English: English Academic Writing Workshop (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 3rd Period

Objective:

- To understand the basic structure of English academic writing: specifically thesis formation, paragraph structure and organization, and use of secondary sources.
- To utilize the course content and write an original essay in English.

Course Contents:

This short course provided a format for writing argumentative essays in English. We learned how to compose a thesis statement, support arguments with reasons, and properly cite and explicate sources. Where appropriate, we learned vocabulary and phrases for academic English writing.

End-of-Semester Review:

This class also had good enrollment and attendance from the group of 3rd-year students who would attend universities abroad in the next term. Since the topic is very complex, there was a lot of material to cover in five weeks, and I could not treat all subjects to my satisfaction. However, the students said that they felt the "taster" the class provided was helpful.

Talking Better with Movies

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Friday 2nd Period

Objective:

- To become able to talk about movies at an advanced, academic level.
- To improve English skills and thinking skills through discussion about movies.
- To understand movies as reflecting and commenting on concrete social issues.

Course Contents:

This class focused on making students more able to participate in both lectures and sections while abroad at a university. English-language films formed the "lecture material" which student absorbed and discussed. We practiced many forms of academic skills, including reading, listening, note-taking, and summarizing.

End-of-Semester Review:

This class was not as fully attended as the other college preparatory class this semester. However, there were enough students to complete the activities planned for the class. Survey results indicated that students enjoyed the ability to think critically about movies, which seemed to be the draw for many of them.

Underground Tokai PR Project: PBL-Based Local Action Course

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Thursday 4th Period

Objective:

- To plan and carry out a book design project in English.

- To think about how to attract a different group of international tourists to our local area.

- To learn how to manage large tasks and set schedules using English.

Course Contents:

In this class, we planned and designed a pamphlet which shows foreign travelers how to experience some part of underground Tokai. Students completed long-term group projects of their choice, while learning the skills and tactics needed to manage a group project.

End-of-Semester Review:

Due to scheduling issues this class split into two separate classes with four students each. However, the two classes/teams worked on the same project: an English guide to café culture in the Nagoya area. They coordinated through video messages and email. The finished project was very beautifully designed, and is now on the iCoToBa website. It is hoped that we can get local tourism boards to post it on their sites as well.

Real-Life Academic Discussion Skills: Pre-Study Abroad Course (Academic Skills) 1

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Friday 4th Period

Objective:

- To learn and review the elements of conversation and discussion.

- To improve fluency and vocabulary by talking about a wide variety of academic and social topics.

- To memorize common phrases used in academic discussion in English.

Course Contents:

This class was designed for students who had mastered basic English communication and wanted to prepare for university life abroad. It featured skill-building lessons to focus on discussion skills, as well as free discussion lessons on academic topics or current news events.

End-of-Semester Review:

This class was one of the most successful classes of the semester, with over 20 participants who attended regularly and prepared well. Many would leave for study abroad the next semester, and the sense of purpose and motivation was strong. This was an example of a successful match of student needs and curriculum planning.

iCoToBa Advanced Course: What is Global, Anyway?

Advanced Topic CLIL Course

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Tuesday 2nd Period

Objective:

- To develop a critical awareness of the global forces at work in our daily lives.
- To be able to form opinions on and discuss contemporary global issues.
- To learn how to think and write critically in English.

Course Contents:

This class was for advanced learners, especially those who have completed a study-abroad program. It was an immersion course using real theoretical texts. We examined how language, politics, economy, culture, and identity are changing as they enter a global frame of reference.

End-of-Semester Review:

This was a relatively small class. However, they all came from different majors, including from the Nursing and Japanese Studies departments. Therefore, their different ideas and backgrounds made for lively discussion. Instead of written essays, the final project had each student lead one full class session, choosing readings material and discussion topics.

Japan Contents Culture Translation Project:

The Sequel Subculture Translation Course

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Tuesday 4th Period

Objective:

- To get practice translating from Japanese to English.
- To think about how one culture's ideas can transfer into another.
- To decide what is cool about "cool Japan."

Course Contents:

In this class we looked at contemporary Japanese cultural contents - novels, manga, movies, and television. After discussing the contents and themes of these works, we practiced translating them into English. In the final weeks, students formed groups and chose a text to translate fully.

End-of-Semester Review:

Unfortunately, only one student joined the class, a 4th-year Japanese Studies student. However, she was motivated both to translate and write about Japanese culture in English. We worked to produce not only translations but critical essays, which were posted on the iCoToBa website as part of publication.

TED Talks: Listening and Discussion

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 3rd Period

Objective:

- To improve English listening skills for lectures and other talks.
- To improve fluency and vocabulary by talking about a wide variety of academic and social

topics.

Course Contents:

In this class, we used selected TED talks as means to improve listening and discussion skills for academic topics in English. In the first module of the course the teacher provided the talks, exercises, and discussion topics. Afterwards, students took turns leading the class each week, selecting talks and providing activities.

End-of-Semester Review:

Though in general the class proceeded as I had designed in the curriculum, the students who enrolled showed a marked interest in vocabulary development and etymology. Consequently, we started to include a vocabulary-sharing activity each week. The enrollment for the class was rather low, but we had the minimum amount of students to conduct discussions and share leader roles.

Presentation Tune Up: English Academic Presentation Workshop (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 3rd Period

Objective:

- To understand the basic structure of an English presentation.
- To make presentations easier to understand and more engaging.
- To gain a stronger presence when speaking in front of people.

Course Contents:

This short course picked up important points of presentations in English. We focused on general academic presentation, talking about presentation structure, slide design and presentation techniques, and voice and body language. In the final lesson, student presented short presentations using the techniques learned in class.

End-of-Semester Review:

This class had only one enrollee, which is a shocking number considering that the topic of presentation skills should appeal to all schools and majors. With only one student, it was impossible to complete the presentation activities properly. This class will hopefully benefit from the revised scheduling procedures and publication techniques I plan to employ from next year. These topics have been discussed with both committee members and the iCoToBa Supporters Club.

Advanced Sentence Patterns Workshop: English Academic Writing Workshop (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 3rd Period

Objective:

- To become more familiar with the kinds of advanced sentences used in academic writing.
- To learn or re-learn basic points about English grammar.

- To practice topic-based writing.

Course Contents:

In this workshop, we practiced useful English grammar and sentence patterns appropriate for academic writing. The class features an open structure – in addition to the set lessons, students are able to introduce patterns and sentences from their other classes as well. The course is taught mainly in English, but questions and discussion in Japanese is allowed when necessary.

End-of-Semester Review:

This course was another sufferer from the low general enrollment this semester. There were 4 enrollees and only 2 active members. However, the two students were very interested in improving their writing, so they responded well to the activities and seemed satisfied with the class. Writing classes at iCoToBa are always a low draw, but I believe with better targeting we can boost the enrollment number.

APU / DMO Collaborative Project : High School / College Collaborative PBL

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 5th Period

Objective:

- To make English-language promotional materials for Aichi Prefecture that will be featured on the Go Central Japan DMO website.
- To work with local high school students on the project.
- To present the materials at a presentation to be held on Thursday November 23rd.

Course Contents:

In this local action project-based learning (PBL) course, we worked with Go Central Japan, the local destination marketing organization (DMO), and with area high school students, in order to make and present tourism materials in English to appeal to international tourists. The class is meant to combine English composition skills and tourism management experience, and connect students to part of the local economy.

End-of-Semester Review:

Since this was a very experimental class project which required a lot of networking, it was difficult to "sell" the idea to all the groups we needed to reach. Consequently, only five university students and one high school student joined the project. However, the two project teams formed from these students worked admirably, and their projects, presented on the November 23rd event, greatly impressed the DMO representative. The materials produced and the video of the presentation will no doubt greatly help us promote the project next year, and we have high hopes for an increased response.

Explain Japan in English Cultural Translation Course

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Thursday 2nd Period

Objective:

- To discuss the appealing elements of Japanese contemporary culture in English.
- To compose intelligent nonacademic critical essays in English.
- To gain practice translating Japanese into English.

Course Contents:

This class was meant to expand the scope of last semester's translation course to have a broader appeal. We take samples from around popular culture and write short English pieces that explain them. Samples can include entertainment media, popular festivals, sightseeing spots, fashion, and even advertisements. We also practice translating our samples into English. Parts of this class are conducted online.

End-of-Semester Review:

Though I had hoped to attract more students to this translation course by generalizing the topic, there was again only one student. Furthermore, her schedule made it unfeasible to conduct the project activity, so the class turned into a one-on-one discussion class. I am afraid I will have to stop offering this class. I still believe that if students joined they would enjoy it, but the topic seems to not draw students in.

iCoToBa Advanced Course: Diversity and the Social Imagination Advanced Topic CLIL Course

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Thursday 4th Period

Objective:

- To gain the conceptual tools for understanding diversity in Japan and elsewhere.
- To investigate how regular people can meaningfully participate in a diverse society.
- To practice speaking and writing critically about society in English.

Course Contents:

In this advanced CLIL-style class, we investigated the question of sociocultural diversity, with an emphasis on how regular people accept or reject diversity in their society. We compared examples in Japan to situations in other countries. Coursework featured models of academic reading and discussion, and the final project included both social research and an argumentative presentation.

End-of-Semester Review:

This was the second year to implement the CLIL-style discussion-project format developed in the previous year. The student enrollment for this course was smaller than before, and there was a slightly lower general level of English ability, so the goals for the final event were scaled back. However, the student makeup was more varied than before, and we had some repeaters who had enjoyed the previous course. This way, the tasks proceeded smoothly, and the students took noticeable pride in conducting the research for their presentations.

Study English with Movies: Self-Study Skills Workshop

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Friday 3rd Period

Objective:

- To learn how to use movies as tools for home English study.

- To gain insight in how to be self-motivated to study English independently.

- To learn the basic terms and phrases needed to talk about movies in English.

Course Contents:

This course was a reboot of the "Study English with Movies" course which I taught in the previous iCoToBa curriculum. The course serves as a study workshop, where students learn several methods of using English-language movies and TV as independent study materials. We focused on using movies as listening practice, as vocabulary and phrase-building exercises, and as material for discussion sessions or daily writing diaries.

End-of-Semester Review:

This class had a moderate-sized attendance of 8 students, but their attendance was exceptional. I was nervous about the class dynamic at first, since there were many different ages and skill levels in the class, but through strategic student pairings I could avert potential problems. The enthusiasm of the students for movies was instrumental in making the activities a success; the discussion activities were surprisingly lively.

Real-Life Academic Discussion Skills

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Friday 4th Period

Objective:

- To acquire new vocabulary and expressions used in daily life.

- To shift understanding of vocabulary towards real-life application.

- To develop the ability and motivation to learn new words by oneself.

Course Contents:

This class was designed for students who had mastered basic English communication and wanted to prepare for university life abroad. It featured skill-building lessons to focus on discussion skills, as well as free discussion lessons on academic topics or current news events.

End-of-Semester Review:

This class was a repetition of the previous semester's course, but unfortunately only four students joined. It is obvious that the "college prep" angle is not attractive in the second semester, when the 3rd-year students have already gone abroad. I switched the course to a casual, student-led free discussion session format, which was very successful and enjoyed by the students. I realized that this looser format is much better for second semester, and I hope to implement it next year.

【フランス語】

Allons en France! (フランスでの生活を始めましょう!)

Instructor: Frédéric CHABOUD

Period: Spring Semester, Tuesday 4th Period

Objective:

- To prepare students who intend to study in a French speaking country.
- To practice conversation in all kinds of situations a student might encounter abroad.
- To give students useful information about everyday life in France.

Course Contents:

- arrivée en France. A l'aéroport. Premier contact. (フランスに到着: 空港で)
- dans la famille d'accueil / à la résidence universitaire (ホームステイファミリー、学生寮で)
- prendre les transports en commun (交通機関を使う)
- quelques formalités : à la banque (銀行での手続き)
- quelques formalités: acheter un téléphone portable (携帯電話を買う手続き)
- à l'université (faire connaissance, découvrir les lieux...) (大学で)
- proposer de faire quelque chose (レストランや映画などに誘う)
- accepter ou refuser une invitation (招待を受ける/断る)
- les repas : au café, au restaurant, au resto-U(食事:カフェやレストランで)
- faire des courses: au supermarché, au marché (買い物:スーパーや市場で)
- quelques problèmes: chez le médecin, chez le dentist (さまざまなトラブル: 医者や歯医者に行く)
- quelques problèmes : déclarer un vol / un accident (さまざまなトラブル: 盗難/事故届けを出す)
- préparer le retour : résilier les contrats (帰国の準備:契約を解約する)

End-of-Semester Review:

Due to poor student attendance it was difficult to follow a structured plan of lessons. Although this class is aimed at preparing students who wish to study abroad none of them intended to actually go to any foreign country and they were not very dedicated to learning and practicing conversation.

Therefore we implemented a more casual style of lesson in which we talked about various situations that might occur in France and we tried to imagine conversations adapted to them. We also came back to basic conversation skills that some students had not fully acquired.

Allons en France! (フランスでの生活を始めましょう!)

Instructor: Frédéric CHABOUD

Period: Fall Semester, Tuesday 4th Period

Objective:

- To prepare students who intend to study in a French speaking country.
- To practice conversation in all kinds of situations a student might encounter abroad.

- To give students useful information about everyday life in France.

Course Contents:

- arrivée en France. A l'aéroport. Premier contact. (フランスに到着:空港で)
- dans la famille d'accueil / à la résidence universitaire (ホームステイファミリー、学生寮で)
- prendre les transports en commun (交通機関を使う)
- quelques formalités : à la banque (銀行での手続き)
- quelques formalités : acheter un téléphone portable (携帯電話を買う手続き)
- à l'université (faire connaissance, découvrir les lieux...) (大学で)
- proposer de faire quelque chose (レストランや映画などに誘う)
- accepter ou refuser une invitation (招待を受ける/断る)
- les repas : au café, au restaurant, au resto-U(食事:カフェやレストランで)
- faire des courses: au supermarché, au marché (買い物:スーパーや市場で)
- quelques problèmes : chez le médecin, chez le dentist (さまざまなトラブル: 医者や歯医者に行く)
- quelques problèmes : déclarer un vol / un accident (さまざまなトラブル: 盗難/事故届けを出す)
- préparer le retour : résilier les contrats (帰国の準備:契約を解約する)

End-of-Semester Review:

Due to poor student attendance it was difficult to follow a structured plan of lessons. Although this class is aimed at preparing students who wish to study abroad none of them intended to actually go to any foreign country and they were not very dedicated to learning and practicing conversation.

Therefore we implemented a more casual style of lesson in which we talked about various situations that might occur in France and we tried to imagine conversations adapted to them. We also came back to basic conversation skills that some students had not fully acquired.

【ドイツ語】

Vorbereitung auf das Auslandsstudium (留学前準備講座)

担当: Martin NIERS

授業時間:前期、水曜1限

授業目的:

海外生活を希望する学生は、クラスごとにレベルや特性、モチベーションが異なるが、それぞれが他の多くの国や文化に対する興味を持てることを心掛け、それを喚起するような授業を行う。日本にいながらにしてできる学習方法や国際的な情報収集について、アドバイスを行う。

授業内容:

扱ったテーマ:ドイツの地域について説明する、自分の家族について語る、日本・ドイツの 携帯電話(SIM カード、SIM ロック、ローミングチャージ)、アジアの国々(ASEAN など)、 日独協会、住んでいる町を説明する、シェンゲン条約、ワーキングホリデー、ドイツの BG (ルームシェア)・オペア制度、日本から見たドイツ(多和田葉子の朝日新聞寄稿) 今期の総括:

具体的なテーマについて自分のことばで説明することで、対象への興味を喚起し、背景を理解して説明する力をつける授業を行なった。場面を想定した練習や発音の練習を繰り返すことで、話す力をつけた。学生に興味を持たせることが重要であり、そのために今後も彼らが必要とする情報や学習方法を提供していきたい。

Vorbereitung auf das Auslandsstudium (留学前準備講座)

担当:Martin NIERS

授業時間:後期、木曜2限

授業目的:

海外生活を希望する学生は、クラスごとにレベルや特性、モチベーションが異なるが、それぞれが他の多くの国や文化に対する興味を持てることを心掛け、それを喚起するような授業を行う。日本にいながらにしてできる学習方法や国際的な情報収集について、アドバイスを行う。

授業内容:

扱ったテーマ:ドイツのポップ音楽、ヨーロッパから見た日本(海外における日本に関する 展示)、ジェスチャーとミミック(顔の動き)、ドイツの祝日や慣習(オクトーバーフェスト)、地 元の特産品(デュッセルドルフなど)、生誕記念祭について(マーティン・ルター500 年など)、 アプリを使った学習

今期の総括:

具体的なテーマについて自分のことばで説明することで、対象への興味を喚起し、背景を理解して説明する力をつける授業を行なった。場面を想定した練習や発音の練習を繰り返すことで、話す力をつけた。学生に興味を持たせることが重要であり、そのために今後も彼らが必要とする情報や学習方法を提供していきたい。

【中国語】

留学之前话中国(中国事情を語る)

担当:劉平

授業時間:前期、水曜3限

授業目的:

介绍现代中国社会、经济和人文最新发展状况,了解中国现地生活的风俗习惯,为学生尽快适应新的留学环境储存相关知识,同时提高语言交流和应变能力。

(現代中国社会、経済と人文の最新の発展状況を紹介し、中国現地の生活の風俗習慣を理解する。学生にできるだけ早く新しい留学環境に慣れさせるために関連した知識を身に着けさせ、同時に言語コミュニケーション能力と対応力を高める。)

授業内容:

全汉语授课,采取谈话或讨论式教学方式,训练流畅的汉语表达能力。利用多媒体设备进行影像辅助教学,增强临场感。学生如有要求,授课内容可做相应的调整。

(すべて中国語の授業で、会話と討論の教学方式を採用し、流ちょうな中国語表現能力

を高めるトレーニングをする。マルチメディア設備を利用し、教学に映像を使うことで臨場感を高めた。また、学生の要求に応じて、授業の内容を調整する。)

今期の総括:

大学校园的生活、出行购物的方式、年轻人的价值倾向、流行的影视歌欣赏等。

以上的选题是学生比较感兴趣的内容,特别是如今中国的购物消费,普遍使用手机支付,年轻人基本上告别了现金,对这一现象学生表现出很强的好奇心,经过学习,他们在吃惊之余心理有了一个精神准备,特别是看了影片,增强了亲临现场的实感。学生对中国的欢音乐电视剧喜闻乐见,通过欣赏中国的歌曲、电影电视,满足他们学习汉语的需求同时也带给他们艺术的享受。

(大学キャンパスの生活、買い物に出かけるやりかた、若い人の価値傾向、流行の映画、 テレビ、歌の観賞などのトピックを学んだ。

以上のトピックは、学生が比較的興味を持つ内容であった。とりわけ、現在、中国で消費活動をする際、スマホ決済が広まり、若者たちは、基本的に現金に別れを告げてしまっている現状に対しては、学生たちは非常に強い好奇心を示した。学習を通して、彼らは驚きながらも精神的な留学の心得を準備できた。また、映画を見たりする中で、中国にいる臨場感を感じることができた。そして、学生は中国の音楽やテレビドラマの視聴も楽しんだ。これら一連の学習を通して、彼らの中国語学習欲求をみたし、同時に彼らに中国の文化芸術の一端を見せることもできた。)

留学之前话中国(中国事情を語る)

担当:劉平

授業時間:後期、木曜5限

授業目的:

介绍现代中国社会、经济和人文最新发展状况,了解中国现地生活的风俗习惯,为学生尽快适应新的留学环境储存相关知识,同时提高语言交流和应变能力。

(現代中国社会、経済と人文の最新の発展状況を紹介し、中国現地の生活の風俗習慣を理解する。学生にできるだけ早く新しい留学環境に慣れさせるために関連した知識を身に着けさせ、同時に言語コミュニケーション能力と対応力を高める。)

授業内容:

全汉语授课,采取谈话或讨论式教学方式,训练流畅的汉语表达能力。利用多媒体设备进行影像辅助教学,增强临场感。学生如有要求,授课内容可做相应的调整。

(すべて中国語の授業で、会話と討論の教学方式を採用し、流ちょうな中国語表現能力を高めるトレーニングをする。マルチメディア設備を利用し、教学に映像を使うことで臨場感を高めた。また、学生の要求に応じて、授業の内容を調整する。)

今期の総括:

中国的饮食文化、中国的传统节日、年轻人的职业观、年轻人消费观念的变化等。当今的中国年轻人和十年、二十年前相比,生存压力越来越大,就职越来越难。通过课堂学习对中日两国年轻人进行对比,可以对中国年轻人有更深刻的了解。为了让学生有更多汉语表达的机会,多媒体的使用要适当,尽量做到既给学生一定的视听效果又不挤占会话的时间。

(中国の飲食文化、中国の伝統的な祝日、若い人の職業観、若い人の消費観念の変化などをトピックに学んだ。

今日の中国の若者と、10年、20年前と比べると、生存のプレッシャーがますます大きくなって、就職もますます難しくなっている。教室での学びを通して、学生は中日両国の若者の対比をおこない、中国の若者に対してより深く理解できた。学生に中国語で表現する機会をさらに多く持たせるために、マルチメディアの使用は妥当なものと考え、視聴覚教材をできるだけ使用し、会話練習の時間をできるだけ多く取り入れるようにした。)

【韓国語】

한국에서의 생활 (韓国での生活)

担当:李 廷

授業時間:後期、火曜5限

授業目的:

韓国の留学を前に、韓国での生活や大学での学習に対する準備をする。主に話す機能に焦点をおいて、日常生活に必要な表現を理解し現地での生活に活用できるようにする。 また、実践的な表現練習を通して、韓国語だけのコミュニケーションの際に自分と自分の 周りのことについて、あせらず話ができるようにする。

授業内容:

日常生活や学校で実際におこりうる場面での会話を繰り返し練習し表現力をつける。

- •自己紹介及び挨拶の仕方
- ・漢数字(電話番号、日付、買い物)
- ・固有数字(年齢、時間…)数字を使ったゲーム
- ・聞いて答える(メールアドレス、方向、場所)
- ・電話すること(予約、出前など)
- ・提案すること(誘う、断る)
- ・推測すること
- アドバイスを求める・与える
- ・銀行、入管、学校を訪問する
- 経験を述べる
- ・許可を求める
- ・描写する
- 感情を表現する

今期の総括:

受講者は 5 人であったが、全員韓国が好きで強い好奇心を持つ学生だったので、楽しく 授業ができた。また少人数であったため、学生のレベルに合わせて学習できた。

しかしながら、韓国の留学時に実際使えるような韓国語能力を養成するためには、できるだけ早い段階(少なくとも1年前から)学ぶ必要があるだろう。

2.2. 英語コミュニケーション講座

Pronunciation Profiles 1&2

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 2nd Period (Pronunciation Profiles 1) Spring Semester, Thursday 3rd Period (Pronunciation Profiles 2)

Objective:

- To improve pronunciation and intonation, especially of trouble sounds.
- To apply learned pronunciation to natural listening and speaking.
- To look at how personality and emotion can affect pronunciation.

Course Contents:

Students listened to a talk by a famous person and isolated a pronunciation point. After practicing the pronunciation point through drills and games, students returned to the featured person's talk and reproduced the day's point in a larger text.

End-of-Semester Review:

Both of these courses made good on the course goal of providing a fun introductory iCoToBa course to first-year students and non-English majors. The Monday class had mainly the first-years of the International and Cultural Studies major, while the Thursday class had a mix of majors and years.

English: Back to Basics: English Communication Workshop

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 4th Period

Objective:

- To review some basic points about English grammar and speaking.
- To smooth out spoken English and reduce errors.
- To gain confidence and fluency in speaking.

Course Contents:

This class featured simple English skills that students had covered in public school. We reviewed points of basic grammar and practiced asking questions to keep a conversation going. This class was a safe space for students who still aren't comfortable with English, as well as a chance for more confident speakers to brush up on the basics.

End-of-Semester Review:

This course benefited from the enthusiasm of the first-years of the International and Cultural Studies major, who participated actively and in large numbers despite the orientation of the class to non-English majors. If scheduled properly, it is hoped that the benefits of the course can be extended to other majors as well.

Advertisement Writing Support: Writing Workshop

(Short Course, Collaborative Project Writing Support)

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Wednesday 4th Period

Objective:

- To polish the English of the final materials for the Collaborative Project Class

Course Contents:

This short course supported the participants of the Collaborative Project Class in composing their advertising articles for local and regional businesses. The teacher held sessions with project groups to offer composition and marketing advice, and to check English grammar and style in the finished compositions.

End-of-Semester Review:

Since the class was by appointment, students met with the teacher at various times. Some groups were more active in soliciting help than others. I attended their practice session and made sure that every group had shown me their materials. This was a very important step, since the groups who hadn't come to me still had errors on their materials.

iCoToBa Event Planning Sessions iCoToBa Intercultural Workshop

(Supporters Club Guidance)

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Thursday 5th Period

Objective:

- To gain support from the ISC members on major events.
- To assist the ISC members with their student-led events.
- To plan and coordinate ideas for the iCoToBa center.

Course Contents:

These were open-schedule planning sessions where I met with the student members of the iCoToBa Supporters Club (ISC) to discuss event planning and other issues. ISC members used iCoToBa for publicizing their events, and I asked them for help with my own events.

End-of-Semester Review:

Since this was the first semester to have a class like this, I applied a low-pressure approach. We met as needed, coordinating help for my big events such as welcome week events, weekly talks, and our major cultural event of the semester: Spanish Day. I also asked them for help in designing flyers.

English: Back to Basics: English Communication Workshop

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 4th Period

Objective:

- To review some basic points about English grammar and speaking.
- To smooth out spoken English and reduce errors.
- To gain confidence and fluency in speaking.

Course Contents:

This class featured simple English skills that students had covered in public school. We reviewed points of basic grammar and practiced asking questions to keep a conversation going. This class was a safe space for students who still aren't comfortable with English, as well as a chance for more confident speakers to brush up on the basics.

End-of-Semester Review:

While the second semester version of this course featured a broader array of majors, many of whom were a better fit for this beginner class, the student enrollment was unfortunately quite low. The two causes for this are likely competition with Wednesday afternoon club activities, and a lack of publication at the beginning of the semester. I will need to work harder to convince non-English majors of the value of this class.

Real-Life Casual English: Fun Class for New Students and Beginners

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Friday 2nd Period

Objective:

- To acquire new vocabulary and expressions used in daily life.
- To shift understanding of vocabulary towards real-life application.
- To develop the ability and motivation to learn new words by oneself.

Course Contents:

This course was a reboot of the "Real-Life English Expressions and Idioms" class of the previous iCoToBa curriculum. Each unit explored day-to-day situations with emphasis on spoken communication. We focused on modern, casual expressions which do not usually appear in textbooks. We also focused on the social aspects of language: how English-speakers use their language to position themselves in society.

End-of-Semester Review:

To increase the attractiveness of the class over the previous version, I shifted the emphasis from vocabulary to role-play and conversation. Also I scheduled the course to match the open time slots of the active and conversation-eager first-year International and Cultural Studies students. Both of these choices paid off: the enrollment number was over 20, and attendance and participation were some of the best ever for this course.

Advertisement Writing Support: Writing Workshop

(Short Course, Collaborative Project Writing Support)

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Wednesday 4th Period

Objective:

- To polish the English of the final materials for the Collaborative Project Class.

Course Contents:

This short course supported the participants of the Collaborative Project Class in composing

their advertising articles for local and regional businesses. The teacher held sessions with project groups to offer composition and marketing advice, and to check English grammar and style in the finished compositions.

End-of-Semester Review:

I was not able to coordinate well with the project teams this semester, and since the teams were still preparing to complete their concepts at the time of this writing, I will be checking their English documents after the semester is over. However, I was able to work with a team from the previous semester, who gave an English tour related to their target industry this autumn. I will try to implement a coordination system next semester.

iCoToBa Event Planning Sessions iCoToBa Intercultural Workshop (Supporters Club Guidance)

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Thursday 5th Period

Objective:

- To gain support from the ISC members on major events.
- To assist the ISC members with their student-led events.
- To plan and coordinate ideas for the iCoToBa center.

Course Contents:

These were open-schedule planning sessions where I met with the student members of the iCoToBa Supporters Club (ISC) to discuss event planning and other issues. ISC members used iCoToBa for publicizing their events, and I asked them for help with my own events.

End-of-Semester Review:

The amount of interaction with the ISC this semester was very much improved from last semester. We are able to set regular lunch meetings where I could explain the center's goals and activities to the students. We also established a reliable communication system using the LINE application. Consequently, the ISC were even more involved in the promotion of activities, and they performed a great service in helping me design the next year's course schedule. I hope we can improve even more next year.

2.3. 地域コミュニティ言語講座

医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座

担当:宮坂へジーナ

授業時間:6月21日、28日、7月5日(水曜日) 13:00~15:30

授業目的:

初級レベル向けに、医療現場やポルトガル語圏を旅行する際に役に立つポルトガル語を 学ぶ。

授業内容:

体の部位や動作と基礎的な文法を紹介後、ダンスやエクササイズを音楽にあわせて、聞き取りと発音の練習を行う。ブラジルの様々な地域の独特な飲食や食べ方、健康に欠かせない栄養、味や好みの言い方について学び、ロールプレイを行い、自分の健康を確かめる。病気になった時の自家製の薬、ブラジルの自家製の治療法を紹介する。

講座の総括:

このミニ講座のテーマは医療看護だが、医療だけを目的とした学生はいなかった。「住んでいる所にブラジル人が多い」とか、「ポルトガル語に興味を持った」、「どんな言語か知りたかった」、と言う学生がいた。3回で終わる講座は、初めてポルトガル語を体験したい学生には良いと思う。基本的な会話、ブラジルの文化、リズム、音楽、単語や表現を学ぶ機会にもなる。今回は、看護学部とスペイン語圏専攻の学生が参加したが、それぞれの分野の知識を加えることによって、このミニ講座の視野を拡げることができた。

医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座(守山キャンパス)

担当:宮坂へジーナ

授業時間:10月25日、11月8日、15日、22日、29日(水曜日) 10:30~12:00

授業目的:

看護学部の学生を中心に、ポルトガル語に初めて触れる学生が、医療看護に役に立つ ポルトガル語を楽しく身に付ける。

授業内容:

このミニ講座は病院内の日常会話、患者のケアや、体の部位の語彙をメインに学ぶ。現場で役に立つポルトガル語に対応できる内容をネイティブ教師と一緒にゲームをしながら学ぶ。

講座の総括:

このミニ講座の登録者は多くなかったが、受講者は、前期に開講した長久手でのポルトガル語講座を受講していたことや、参加者の目的がはっきりしていたため、質問も多く、疑問や様々な情報に触れることでモチベーションが高まった。ポルトガル語の文法も一歩前に進み、文書の作成にも挑戦することができた。前期で学んだが使えなかったポルトガル語も少し練習すると埃がかぶった記憶をはらうように思い出すことができた。ブラジルの食べ物の味や、ポルトガル語を話す患者との小さな出来事の場面を設定し、覚えやすく、楽しく、興味を喚起する授業になった。このミニ講座を守山キャンパスで実施したことで、受講者は無理なく参加できたと思う。

教育分野ポルトガル語入門講座

担当: 宮坂へジーナ

授業時間:10月11日、18日、25日(水曜日) 13:00~15:30

授業目的:

現在、日本に在住しているブラジル人の子どもが数多く学校に通っている。子どもと簡単なポルトガル語でコミュニケーションを取ることができるようにする。

授業内容:

ポルトガル語の初心者を対象に、教育をテーマに、遊び歌や、サッカー、祭りを通してポルトガル語を学び、子どもの世界に触れる。

講座の総括:

最初はブラジルの教育制度の説明から始めた。学生は一生懸命聞いていたが、聞くだけの限界を感じた。ゲームをすると、元気が戻り、ポルトガル語の単語の習得ができるようになった。ワールドカップをきっかけにサッカーの魅力を紹介したが、学生は静かに聞いていた。ボールを蹴ると、サッカーで使う表現を、ポルトガル語を聞いたり笑ったりして楽しく身につけていた。楽器を実際に作って弾いたり、持ってきたいろいろな材料で音を確かめたりしていた。遊び歌は少し言葉の数が多く、一緒に歌うことは難しかった。でも、いつの間にか、肩から力が抜けて、ポルトガル語で大きな声をだし、皆で踊っていた。そして、もっと子どもの世界をポルトガル語で話そうということで、「絵本をポルトガル語で読みましょう!」という提案がでた。

ビジネス中国語講座

担当:李娟

授業時間:6月12日、19日、26日、7月3日、10日(月曜日) 16:10~17:40

授業目的:

主にビジネス場面における中国人とのコミュニケーション場面で知っておくべき慣習や考え方、マナー等について、簡単な中国語のキーフレーズと共に学ぶ。

授業内容:

- ・6月12日(第1回)中国語の発音、中国での食事
- ・6月19日(第2回)自己紹介と名刺交換、初対面での会話の話題
- ・6月26日(第3回)依頼、時間について話す、中国の漢字
- ・7月3日(第4回)事情を説明する、「中国に行ったら」
- ・7月10日(第5回)趣味について話す、「中国人が好きなこと」

5回の内容をそれぞれ独立させることで、毎回受講できない学生にも学びやすい環境づくりを目指した。

講座の総括:

当初、中国語を初めて学ぶ学生をイメージして講座を設計したが、実際には、中国学科の2年生が受講したため、各回より難しい内容に取り組むことができた。愛知県に取引先の中国人が出張で訪れたという設定で、名古屋めし(天むす、味噌煮込みうどん、ひつまぶし)を中国語で説明する練習を行い、簡単なパンフレットを作成した。

エキスプレス韓国語講座

担当:李 廷

授業時間:10月11日、18日、25日、11月1日、8日(水曜日) 13:00~14:30

授業目的:

入門学習者を対象に、ハングルが読めるようになること、そして身近な場面での簡単な韓 国語会話ができることを目指す。具体的には、韓国人と初対面時の挨拶、自己紹介、韓 国旅行での買い物や病院、ホテルなどでのトラブル対応などである。

授業内容:

- ・10月11日(第1回)ハングルの構成、歴史、自己紹介
- ・10月18日(第2回)基本的な決まり文句、韓国の歌
- ・10月25日(第3回)タクシーで、数字、ホテルで
- ・11月1日(第4回) 道をたずねるとき、買い物で、食堂で
- ・11月8日(第5回)トラブルがあった時(病院で、警察で)

講座の総括:

5回のミニ講座にもかかわらず多数の学生が参加した。真面目に取り組んだ受講者はハングルを読み、決まり文句などを使えるようになった。実際に韓国への旅行や韓国人と会う機会に役立てほしい。しかしながら、欠席した学生のために毎回の授業で復習により多くの時間を割く必要があったので、取り上げたい内容がすべて扱えなかった。せっかくの機会なので、学生には、できるだけすべての授業に出席してほしい。

2.4. 語学検定対策講座

TOEIC Clinic 1, 2&3 (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Spring Semester, Monday 5th Period

Objective:

- To become familiar with the kinds of questions on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

Course Contents:

This short course was given three times during the semester, and served as an introductory course for TOEIC practice. The teacher explained basic strategy for the various parts of the TOEIC. After taking portions of the test, the students asked questions to the teacher about grammar, vocabulary etc.

End-of-Semester Review:

The Monday 5th Period slot seemed good for the TOEIC class, and was well attended, except for the final session. This means that more variety of TOEIC courses will be need for each semester. As the courses progressed, I was able to hone the course structure better to cater to students' understanding and needs for TOEIC strategy.

TOEIC Clinic 1 (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 5th Period

Objective:

- To become familiar with the kinds of questions on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

Course Contents:

This short course served as an introductory course for TOEIC practice. The teacher explained basic strategy for the various parts of the TOEIC. After taking portions of the test, the students asked questions to the teacher about grammar, vocabulary etc.

End-of-Semester Review:

I was able to improve the format of the TOEIC introductory course. I added more test strategy points and streamlined the timing of the lessons. I was also able to address the different testing needs and styles among the students as part of my lectures.

TOEIC Clinic 2 (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester (6th period, 5 slots)

Objective:

- To become familiar with the kinds of questions on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

Course Contents:

This short course served as an introductory course for TOEIC practice. The teacher explained basic strategy for the various parts of the TOEIC. After taking portions of the test, the students asked questions to the teacher about grammar, vocabulary etc. This was conducted as 5 separate lectures rather than as a single course.

End-of-Semester Review:

Due to the way this class was scheduled (by online date selection and random signup) many different students joined each lesson and the enrollment for each lesson was never over 10 students. However, since I had honed this lesson structure in the previous semester, and because each lesson can function as a stand-alone unit, the course was able to be conducted smoothly.

Useful Vocabulary for the TOEIC (Short Course)

Instructor: Brett HACK

Period: Fall Semester, Monday 5th Period

Objective:

- To become familiar with the kind of language on the TOEIC test.
- To improve vocabulary and comprehension as related to standardized testing.
- To understand more about the business culture of the English-speaking world.

Course Contents:

This short course served as an intermediate course for TOEIC practice. We focused on common words and phrases that appear in the TOEIC test, practiced using them, and then tried out TOEIC problems containing those words. We also discussed the social and business contexts in which the words are used.

End-of-Semester Review:

In this course, I tried a mix of textbook-based vocabulary lists and exercises to build vocabulary alongside a set of reading speed and comprehension drills using questions from Part 7 of the TOEIC. The students in the class were of mixed levels, and I noticed that the more advanced students responded better to the drills. From next term I will split the two kinds of exercises into different courses: an intermediate class featuring simple vocabulary practice, and an advanced class with reading drills.

TOEFLリスニングテスト対策講座 (短期集中講座)

TOEFLリーディングテスト対策講座 (短期集中講座)

TOEFLスピーキングテスト対策講座 (短期集中講座)

授業時間:8月7日(月)、8日(火)、10日(木) 90分×5コマ(リスニング、リーディング) 9月26日(火)、27日(水)、29日(金) 90分×5コマ(スピーキング)

担当:宮崎尚一 授業目的:

TOEFL iBT 受験対策(主に中級~上級レベル対象)

授業内容:

ETS 公式問題集およびその他の市販問題集を用いて、各セクションの実践演習を行った。 それぞれのセクションの中から良質な問題を厳選し、それを細部まで徹底的に分析し、受 講生が TOEFL iBT の出題形式に十分に慣れるよう指導した。

また、市販問題集の附属 CD を活用し、どのセクションにおいてもリスニング学習を必ず行うようにした。

講座の総括:

少人数クラスであったので受講生一人一人に目が届き、それぞれの学生に合った適切な 指導が行えた。本講座を通じて、4技能(読む・聴く・話す・書く)のうちの3技能の総合的 な英語力を向上させることができたと感じている。

TOEFLリーディング・スタート講座 (短期集中講座)

TOEFLリスニング・スタート講座 (短期集中講座)

TOEFLライティング・スタート講座 (短期集中講座)

授業時間:2月6日(火)、7日(水)、8日(木)、13日(火)、14日(水) 各講座 90 分×5コマ 担当:宮崎尚一

授業目的:

TOEFL iBT 受験対策 (主に初級~中級レベル対象)

授業内容:

TOEFL iBT 試験全体の流れを分かりやすく理解させ、受験のためにはどういった準備学

習が必要であるかを伝授した。市販の問題集の中から良質な問題を厳選し、解答練習させた後、それを徹底分析して解説した。さらに、まとめとして、ETS 公式問題集の問題に取り組ませ、本番の流れをリアルに感じ取ってもらうようにした。ライティングにおいては受講生の答案を細かく添削し、より良い英文が書けるよう丁寧に指導した。

講座の総括:

TOEFL iBT 全体の流れを初めて知った受講生にとっては、この試験がかなり複雑なテストのように思えたようである。少人数クラスであったので、それぞれの学生が自分のペースで無理なく学習できたことが非常に良かったのではないかと思われる。

2.5. iContact

2017 年度の iContact は、英語は、iCoToBa のハック教員と教養教育センター外国人教員 4 名が担当した。それ以外の言語(フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、韓国語、ポルトガル語)は、交換留学生の SA(スチューデント・アシスタント)が担当した。SA を担当した学生は、前期 12 名(フランス 2、メキシコ 3、ドイツ 2、中国 2、台湾 2、韓国 1)、後期 15 名(フランス 2、スペイン 2、メキシコ 3、ペルー1、ドイツ 1、台湾 1、韓国 2、ブラジル 2、ポルトガル 1)である。留学生の iContact は、昼休みの時間帯を中心に開催し、学生が参加しやすい形態をとった。英語については、iCoToBa のハック教員は、随時学生対応をし、教養教育センターの教員は、開講時間を指定し、予約制(1回あたり 15分)で開催した。

学期はじめは、iContact の認知度が低く、学生がなかなか集まらなかったが、広報にも力を入れたため、参加学生は順調に増えてきている。今後も新入生・在校生ガイダンスや Facebook などの SNS を活用し、広報活動を継続していく。

学生からは、「気軽に留学生と話せる」「授業以外に楽しく言語を学べる」とよい評価を得ている。

言語	担当	実施回数	参加者数(のべ数)	合計時間
英語	教養英語担当教員	90	219	22.5 時間
フランス語	交換留学生	40	78	20 時間
スペイン語	交換留学生	60	85	30 時間
ドイツ語	交換留学生	38	18	19 時間
中国語	交換留学生	80	139	40 時間
韓国語	交換留学生	18	31	9 時間
合計		326	570	140.5 時間

「表 2 2017 年度前期 iContact 実施実績]





[表 3 2017 年度後期 iContact 実施実績]

言語	担当	実施回数	参加者数(のべ数)	合計時間
英語	教養英語担当教員	95	129	23.75 時間
フランス語	交換留学生	35	118	17.5 時間
スペイン語	交換留学生	73	127	36.5 時間
ドイツ語	交換留学生	30	66	15 時間
中国語	交換留学生	20	31	10 時間
韓国語	交換留学生	37	51	18.5 時間
ポルトガル語	交換留学生	50	50	25 時間
合計		340	572	146.25 時間





3 iCoToBa のイベント

3.1. 2017 年度 iCoToBa 開催イベント

iCoToBa では、本学学生の異文化理解および異文化交流の促進を目的に多様なイベントを 開催している。以下、2017年度に実施したイベントについて報告する。

Welcome Week Event: Pancakes of the World

This event was the capstone of the series of "Welcome Week" events carried out by the iCoToBa Multilingual Learning Center in the first week of the school year. The events were meant to highlight the types of fun and educational experiences that the center had to offer, and to increase first-year student interest in our courses and programs. In this final event, held on April 14th from 16:10, students – mainly first-year students – tried their hand at cooking three different kinds of pancakes from different cultures: USA, France, and Ireland. Older students from the iCoToBa Supporters Club and veterans of the iCoToBa program volunteered to help prepare the event, guide the participants through the cooking, and help cleanup. There were over 100 participants and 13 volunteers. There were plenty of pancakes for all. As with previous years, it was a lively event that lasted late into the evening.





留学生歓迎会 春

4月26日(水曜日) に、iCoToBa Supporters Club (ISC) が企画・実施した留学生歓迎会を開催した。参加者は、2017年前期から愛知県立大学で学ぶ新留学生12名をはじめ、在籍留学生11名、日本人64名が参加、ISCメンバー8名をあわせて、参加者総数は、87名だった。

パーティーは、留学生の紹介から始まり、その後 9 つのグループに分かれてゲームを行った。そして 1 時間程度フリートークタイムを設け、たくさんの学生と交流する時間を作った。

行ったゲームは 2 種類である。ひとつは、世界の有名な場所を当てるクイズである。写真を 載せたスライドを用意し、挙手して答えてもらった。また、その場所の豆知識について、留学生 に紹介してもらい、楽しみながら世界の地域を学ぶアクティビティができた。 もうひとつのゲームは、出されたお題(日本語で書かれた説明)を、グループで協力し絵に するというゲームで、参加者の個性溢れた絵が紹介され、大変興味深かった。また、お題が日 本語で書かれていたため、日本人学生が留学生にわからない点を教える機会も持てた。多国 籍の学生が全員で協力し、ひとつの絵を仕上げる作業はとても素敵なことだと感じた。

今回も歓迎会を成功させることができた。これからも ISC のメンバーとして、日本人学生と留学生をつなぐ活動を積極的に行い、留学生に日本に来てよかった、愛知県立大学でよかったと思ってもらえるような思い出作りに貢献していきたい。(報告:中国学科2年 林佳穂)





メキシコ・インターンシップ報告会

本学は、産学連携によるグローバル人材育成の一環として、2016年3月よりメキシコに進出する日系企業と協力して、半年から1年間のメキシコでの長期インターンシップをする機会を提供している。

4月19日(水)に、このインターンシップの第2期生の報告会を開催した。報告会では、近藤愛与さん(外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻4年)が、自身の経験を紹介した。

近藤さんは、メキシコでの 1 年間の留学後にインターンシップを行ったが、インターンシップ 先での専門用語やメキシコ人労働者との関係で最初は悩むことも多く、苦労が絶えなかったこ と、しかし、その後、単なる通訳者という受け身のコミュニケーション姿勢から、自分から率先し て行動し、学びとるようにしたことで、大きく成長することができたとのことであった。その結果、 派遣先で、「メキシコの生産現場では欠かせない通訳」と評価されるようになった。

フロアの参加者は、熱心に近藤さんの発表に耳を傾け、活発な質疑応答が行われた。





ポルトガル語交流会

4月26日(水曜日)に、ポルトガル語交流会が 開催された。ポルトガル語を学ぶ学生やブラジ ルに興味を持つ40名以上の学生が交流会に参 加し、交換留学生らと交流した。

交流会では、ブラジルのお菓子や代表的な炭酸飲料「guarana (ガラナ)」や共に会話を楽しんだ。ポルトガル語を学ぶ多くの学生が、ポルトガル語での会話にチャレンジし、会の終了時間を過ぎても話が続き、学生のポルトガル語やブラジルへの関心の高さがうかがわれた。



スペイン語の日

6月21日(水曜日)に、スペイン語圏の文化イベントである「スペイン語の日(El Día del Español)」を開催した。学部生44名、交換留学生14名、教職員10名の計68名が参加した。イベントは1日にわたり開催され、スペイン語圏専攻のリディア・サラ教員、フランシスコ・ハビエル・ロペス・ロドリゲス教員のサポートにより、大規模なイベントとなった。

昼休みの時間帯には、グローバルセミナーとして田中敬一教員(ヨーロッパ学科スペイン語 圏専攻)による講演「東海地方におけるスペイン語生活支援」が行われ、その後学内でスペイン語でのスタンプラリーを行った。参加者は、4 名程度でチームになり、スペイン語を読み解きながら、スタンプを探した。

15 時からは、在名古屋ペルー共和国総領事のアントニオ・ペドロ・ミランダ・シスニエガス氏によるスピーチが行われ、参加者はペルーの歴史に関する理解を深めた。その後、スペイン料理を楽しむ懇親会が開かれた。

このイベントでは、1日間スペイン語圏の文化に触れ、楽しみながら、スペイン語や社会について学ぶことができた。





日本の遊び大会

6月28日(水曜日)に、留学生に日本に古くからある遊びと日本文化を紹介するイベント「日本の遊び大会」を開催した。イベントで行ったのは、「手繋ぎ鬼ごっこ」「じゃんけん列車」「ハン

カチ落とし」「だるまさんの一日」である。これらは日本人にとっては子どものころから馴染みのあるものであるが、留学生にとっては初めて体験するものであった。遊びを通して、日本人学生との交流も進み、日本語でのコミュニケーションを楽しむことができたのではないかと思う。このような日本文化を楽しみながら体験できるイベントは、留学生と日本人との交流を促進できるよい機会だと感じた。(報告:英米学科2年 山田将輝)





中国語映画鑑賞会

2017年度は、2回中国語の映画鑑賞会を開催した。報告者は、昨年度に開催されたイベントに参加し、中国語で映画を鑑賞することの楽しさを知ったため、他の学生にもこの楽しさを知ってもらいたいと考えた。イベントで取り上げた映画は次の2作品である。

第1回(6月29日)「アリスイン ワンダーランド(爱丽丝梦游仙境)」

第2回 (11月22日)「ジャングルブック(奇幻森林)」

映画鑑賞会で使用した DVD は 2 作品とも中西千香先生にお借りした。多くの学生が以前に視聴した可能性が高い有名な作品にしようと考え、ディズニーの映画からいくつか候補をあげた。その中から字幕と音声が一致しているものを今回の映画会で使用させていただいた。

昨年の映画会と比べ聞き取れる単語が増えており、自身の中国語能力の向上と共に、映画

をより楽しむことができた。また、教科書で学んだ表現の使用例や実際の会話場面をみることで、どのように抑揚をつけ、感情を込めているのかを学ぶ機会になった。

今回の映画鑑賞会には中国学科の2年生だけでなく、1年生や他学科の学生、留学生も参加した。この会を通して、学年や学科を超えた交流ができた。今後も機会があれば、映画会を開催していきたい。

(報告:中国学科2年 内田さくら)



ドイツデー

7月5日(水曜日)13:00~14:30 に、ドイツデーを開催した。主な対象を1年生として、留学経験者やドイツ人留学生にさまざまな話をしてもらい、ドイツへの留学について関心を高め

る機会とした。

イベントでは、留学を経験した先輩方に、スライドで留学先の大学について、20 分程度で大学や周辺土地の紹介、生活情報(買い物や費用など)をしてもらった。後半には、ドイツ人留学生のクラウゼ・フェリックスさんが、ドイツ留学に関するプレゼンテーションを行い、留学するメリットを留学生の観点から詳しく解説した。

このイベントをとおして、これから留学を目指す 1、2 年生が、漠然とした留学のイメージを、より具体的にすることができたと思う。 (報告:ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻2年 大櫛啓)





アメリカ・中国の食文化を知ろう!

7月12日(水曜日)に、中国とアメリカの留学経験者によるイベント「アメリカ・中国の食文化を知ろう!」を開催された。このイベントは、福岡遥さん(2016年度英米学科卒業)、坂本桃代さん、戸塚奈水さん、山口智美さん(中国学科4年)が担当した。

イベントでは、アメリカの定番料理である Mac&Cheese と、中国の家庭料理、回鍋肉と荔枝肉を作った。外国語学部だけでなく、日本文化学部の学生も参加し、学部を超えた交流ができた。また、留学に興味のある学生が多く参加していたため、食事後はそれぞれ留学体験について話し合った。





スウェーデン文化交流イベント・スウェーデンクッキング

7月14日(金曜日)に、スウェーデンと日本の比較文化をテーマにしたランチョンセミナーとスウェーデン料理を作って食べる文化交流イベントを開催した。

講師は、スウェーデン第2の都市であるイェーテボリ(Göteborg)にある、イェーテボリ大学言語文学科専任講師のトーマス・エクホルムさんが務めた。エクホルムさんは、大学時代に日本に留学経験もあり、豊かなご自身の経験を踏まえながら、伝統的な文化だけでなく、ポップカルチャーも例にあげつつ、日本とスウェーデンの文化差について英語でレクチャーした。

その後、調理室でスウェーデンの代表的な料理である、ミートボールのマッシュポテトとリンゴンベリージャム添えをエクホルムさんのレシピを見ながら作った。参加者は、できあがった甘いリンゴンベリージャムを添えたクリームソースのミートボールに舌鼓をうった。今回のイベントは、英語で行われ、参加した学生は、英語母語話者以外と英語でコミュニケーションするというグローバルな英語にふれる機会にもなった。





留学生送別会 夏

2017 年前期で交換留学を終える学生を送り出す Farewell Party が、7月19日(水曜日)に開催された。参加者は87名(留学生27名、日本人学生49名、ISCメンバー11名)であった。送別会では、ゲームとスピーチを行った。ゲームは、スライドを用いた"What is it?"と、指定された大学構内にあるオブジェをグループに分かれ探し出すゲームと2種類行った。記念のプレゼントとして、帰国する交換留学生の名前を漢字で表現した書道作品を手渡した。会の最後には、これまでのさまざまなイベントでの交流の様子をスライドショーで投影し、思い出をふりかえった。そして、帰国する留学生が簡単なスピーチをした後、全体で記念撮影をした。前期で帰国する留学生はもちろん、後期もひきつづき県大で学ぶ交換留学生や県大生にとってもとても育意義な時間になったと思う。(報告:ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻2年 大櫛啓)





留学生歓迎会 秋

10月18日(水曜日)に、2017年後期から本学で学ぶ交換留学生を歓迎するWelcome Party を開催した。留学生 27名、学部生49名、ISC11名の計87名が参加した。

まず新規留学生を紹介し、一人ずつ挨拶をしてもらった。次に、9 つに分かれたグループ対抗戦のゲームを二つ行った。

最初のゲームは、「自己紹介ビンゴ」である。通常の数字が書かれたビンゴとは異なり、それぞれの学生のプロフィールがわかる質問(「ペットを飼っているか」「車の免許を持っているか」など)が書かれたタスクを行うというものである。ビンゴの質問には、「モノマネをして」や、「恋人がいますか」といった、ひねられたものもあり、大変盛り上がった。初対面の人に人見知りする学生や、話題が見つからない学生でも積極的にコミュニケーションの取れるゲームだった。

次に行ったゲームは、「国の名所・有名人クイズ」である。世界各地の名所や有名人を当てるというゲームで、提示されるスクリーン画像は、最初は、ほんの一部分が提示され、徐々に見える範囲が広がっていく。早い段階で当てれば高得点が得られるため、みな一生懸命スクリーンを見ていた。クイズの画像素材は、留学生の出身国のものを多く使っていたので、日本人学生が全く分からないものもすぐに留学生にはわかったようである。これらのゲームの後、上位3チームの表彰を行った。

また、この歓迎会では、本学の3年生がインターンシップに参加した山眞産業株式会社とのコラボ企画である「桜の食文化体験」を行った。山眞産業から提供されたさまざまな桜スイーツ(桜餅、桜ソーダ、桜の焼き菓子)を試食した留学生の多くは、桜スイーツは初体験だったということもあり、少し驚いていたが、おいしいと口々に言っていた。

歓迎会の最後に歓迎のプレゼントとして、日本風のはがきを渡した。神社や花火の写真が使われており、留学生に好評だった。

今回の歓迎会は、内容も豊富で参加者も大いに満足した。今後もこのような楽しい企画を ISC で開催していきたい。(報告:国際関係学科1年 宮原杏奈)





留学生トークシリーズ

学術交流協定大学留学生対象科目(交換留学生を対象としたもの)である「プロジェクトワーク」を履修している交換留学生が、iCoToBa でプレゼンテーションを行い、日本人学生と交流するイベントを3回行った。プロジェクトワーク授業担当の黒野敦子講師とiCoToBa のハック教員が中心となり、企画を立案、iCoToBa の Facebook など SNS を活用して事前に広報を行っ

た。3回のイベントのテーマは以下のとおりである。

第1回 11月16日(木曜日) 「私の国について」

第2回 12月14日(木曜日) 「歌おう!踊ろう!見よう!一私の国の大衆文化」

第3回 1月18日(木曜日) 「私の国の昔話」

3 回でのべ 142 名の学生がイベントに参加した。発表した留学生は「緊張したが、日本人が みんな優しくて、話しやすかった」「最初は緊張したけど、日本人と近い距離で話せたこともあ って、だんだん緊張しなくなった」など、達成感を感じていた。





ドイツのクリスマス会

12月13日(水曜日)にドイツ・クリスマス会を企画・実施した。この企画は、ドイツで有名なクリスマスマーケットや、クリスマスの慣習などを知ってもらうことを目的に行った。参加者は、日本人学生40名、留学生5名であった。

基本的なドイツのクリスマス情報に関するクイズをとおして、チームで話し合ったり留学生に質問したりして、参加者はドイツのクリスマスをより理解できたと思う。交流タイムには先生が用意してくださった、ドイツのクリスマスの伝統菓子であるシュトレンや、クッキーなどのお菓子を食べながら、留学生と交流した。後半は、ドイツ人の先生が出身地の写真を見せながら、クリスマスをどのように家族と暮らすか、自分の経験を話してくださった。また、クリスマスの定番の曲をドイツ語で教えてもらい、みんなで合唱した。

イベントは、1 時間 30 分という短い時間だったが、内容も濃く、楽しくにぎやかな会になった。 (報告:ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻3年 水野星来)





留学生送別会 冬

12月20日(水曜日)に、2017年の後期で帰国予定の交換留学生を送り出す Farewell Party を開催した。留学生27名、日本人21名、ISC7名、計55人が参加した。

パーティーの冒頭、参加者は 7 つのグループになり、簡単なアイスブレイクを行った。雰囲気が和んだ後に、ゲームを行った。行ったゲームは、「ジェスチャーゲーム」と「ビンゴゲーム」の2種類である。

「ジェスチャーゲーム」では、各グループの代表者がみんなの前でジェスチャーし、その答えをグループで相談して答えた。ジェスチャーは留学生と日本人学生の両方が挑戦したので、ジェスチャーにも文化の違いが見られ、全体で楽しむことができた。

次の「ビンゴゲーム」では、留学生が数字を読み上げたり、クイズを組み込むなど、交流ができるように工夫した。その結果、会話が弾み楽しい雰囲気でゲームを進めることができた。

最後には、事前に集めた写真をスライドショーで投影した。それぞれの思い出をふりかえったあと、帰国する留学生にスピーチをしてもらい、プレゼントを手渡した。想いがあふれ涙する留学生もいて、このような機会を作れて良かったと思った。全体での記念撮影の後、自由に話す時間を設定した。別れの会でありながらも、新しい出会いが生まれ、留学生と学部生がつながる機会になった思う。今後も、ISC として県大生と留学生の和を広げられるような活動に取り組んでいきたい。 (報告:英米学科1年 大西穂香)





[表 4 2017 年度 iCoToBa 開催イベント一覧]

実施日	時間	イベント名	参加
)\n <u>E</u>	d led	1 7 17 1	者数
4月10日	終日	iCoToBa Welcome Week	224
~14 日	N/V	(including Pancake Cooking Experience)	224
4月19日	12:10~13:00	メキシコ・インターンシップ報告会	32
4月26日	12:00~13:30	ポルトガル語交流会	46
4月26日	13:30~16:00	留学生歓迎会 春	84
6月21日	12:05~17:00	スペイン語の日	68
6月28日	13:30~16:00	日本の遊び大会	31
6 H 20 H	16.10 17.40	中国語映画鑑賞会	10
6月29日	16:10~17:40	「爱丽丝梦游仙境(アリス イン ワンダーランド)」	12
7月5日	13:00~14:00	ドイツデー	33
7月12日	12:10~13:30	アメリカ・中国食生活イベント	12
7月14日	12:05~12:50	スウェーデン文化交流イベント	14
7月14日	14:30~17:00	スウェーデン・クッキング	12
7月19日	13:30~16:30	留学生送別会 夏	46
10月18日	13:30~17:00	留学生歓迎会 秋	87
11月16日	12:05~12:50	留学生トークシリーズ 1 「私の国について」	56
11月22日	12:50~15:00	中国語映画鑑賞会 奇幻森林(ジャングルブック)	7
11 日 22 日	11.20 - 12.00	愛知県立大学・中央日本総合観光機構共同	42
11月23日	11:30~13:00	DMO プロジェクト成果発表会	42
12月13日	13:00~15:30	ドイツのクリスマス	39
12 日 14 日	12.10- 12.45	留学生トークシリーズ 2	16
12月14日	12:10~12:45	「歌おう!踊ろう!見よう!一私の国の大衆文化」	46
12月20日	13:45~17:00	留学生送別会 冬	56
1月18日	12:10~12:45	留学生トークシリーズ3「私の国の昔話」	40

4 グローバルセミナー

iCoToBa グローバルセミナーは、2017年度から始めた新しい取り組みである。本学の教員や外部有識者を招き、国内外のグローバルな文脈における研究や、研究に関連した活動、または、海外生活で得た経験などについて紹介し、議論できる場をつくることを目指したものである。本学のグローバル事業が全学化されたことにともない、学生と教職員が交流できる場として設定された。2017年度は、計 16回のセミナーを開催し、全学教員の協力により多彩なテーマを取りあげることができた。実施したグローバルセミナーの内容は、本学公式 Web サイトやiCoToBa の Facebook ページで紹介している。以下は、本学公式 Web サイトに掲載されたものの転載である。

グローバル・ビジネス環境の変化と中部地域の中堅・中小企業の海外展開支援 講師: 三根伸太郎氏(日本貿易振興機構名古屋貿易情報センター)

グローバル実践教育科目「地域ものづくり学生共同プロジェクト」の一環として、日本貿易振興機構(ジェトロ)名古屋貿易情報センター所長・三根伸太郎氏による特別講義「グローバル・ビジネス環境の変化と、中部地域の中堅中小企業の海外展開支援」を iCoToBa(多言語学習センター)で行いました。

講義の後、愛知県の伝統産品を外国人観光客に PR する方法を考えるワークショップを行い、学生が考えたアイデアに三根所長から、アドバイスをいただきました。





We are all allies: Supporting children and young people with diverse backgrounds (みんな仲間だよ—多様な背景を持つ子どもと若者の支援)

講師:アンドレア・カールソン氏(教養教育センター)

今回は教養教育センター教授 アンドレア・カールソン先生に、様々な文化的背景を持った 国内在住の子どもと若者への社会的・心的サポートに関わる諸問題と、仲間として助け合うこと の大切さについて、「We are all allies: Supporting children and young people with diverse backgrounds みんな仲間だよ一多様な背景を持つ子どもと若者の支援」との題目でお話しい ただきました。 英語だけでなく、子どもやボランティアにも興味がある学生・教職員 21 名が参加し、英語の表現を学びながらアンドレア先生と活発に意見を交換しました。





日本に生活するブラジル人とポルトガル語学習

講師: 高阪香津美氏(外国語学部国際関係学科)

第3回グローバルセミナーは、外国語学部国際関係学科の髙阪香津美先生に、「日本に生活するブラジル人とポルトガル語学習」というテーマでお話いただきました。ブラジル人は日本に住む外国人の中では5番目に多く、愛知県には多くのポルトガル語を母語とする人たちが暮らしています。しかし、実際には高校や大学等でポルトガル語を学習する機会はまだ限られているのが現状です。セミナーでは、日本で生活するブラジル人の生活を追いながら、私たちがポルトガル語を学ぶ意義について話し合いました。





英語を専攻しない人にも役立つ(と嬉しい)英語発音上達法

講師:熊谷吉治氏(外国語学部英米学科)

第 4 回グローバルセミナーは、外国語学部英米学科の熊谷吉治先生に、「英語を専攻しない人にも役立つ(と嬉しい)英語発音上達法」というテーマでお話いただきました。発音が上手くなることは日本人には永遠の課題ですが、発音の勉強をすることは、「ネイティブらしく話すために」以上に、「話していること」を聞いて理解するために重要であることを、さまざまな音源を使って説明いただきました。

講座では、参加者全員で発音練習をしながら、いろいろな音の変化を聞き比べました。





東海地方におけるスペイン語生活支援

講師:田中敬一氏(外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻)

第 5 回グローバルセミナーは、外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻の田中敬一先生に、「東海地方におけるスペイン語生活支援」というテーマでお話いただきました。スペイン語圏専攻の学生を中心に、学生・教職員 27 名が参加し、豊田市保見団地などの東海地方の身近な例をあげて、地域のスペイン語(とポルトガル語)での生活支援について説明がありました。





朝鮮民主主義人民共和国への修学旅行 —在日朝鮮人学生と一緒に訪問して考えたこと—

講師:山本かほり氏(教育福祉学部社会福祉学科)

7月5日に開催された第6回グローバルセミナーは、教育福祉学部社会福祉学科の山本かほり先生に「朝鮮民主主義人民共和国への修学旅行—在日朝鮮人学生と一緒に訪問して考えたこと—」というタイトルでお話をしていただきました。

学生・教職員 29 名が参加し、私たちが普段抱く疑問について、豊富な画像や音声を用いてとてもわかりやすく説明してくださり、ご自身の研究や交流から得られた貴重な知見をもとに、

私たちが多面的に物事を考えることの重要性を教えていただきました。





グローバル時代の終わりの始まり?

講師:高島忠義氏(愛知県立大学学長)

第7回グローバルセミナーは、愛知県立大学の高島忠義学長に「グローバル時代の終わりの始まり?」というテーマで講演いただきました。グローバルとインターナショナルとの違いや、グローバル化により引き起こされる問題について、最近のニュースを基に解説されました。その後、学生・教職員と活発なディスカッションが行われました。





ブラジルで日本語・日本文化を教える --オンラインコースでの試みを中心に---

講師: Sarah Longatto Fuidio 氏 (Mirai Idiomas 経営者)

2017 年後期最初の第 8 回グローバルセミナーが、10 月 4 日 (水曜日) に開催されました。本学英米学科の卒業生で、現在、ブラジルで Mirai Idiomas 経営者の Sarah Longatto Fuidio さんをスピーカーに迎え、「ブラジルで日本語・日本文化を教える―オンラインコースでの試みを中心に―」をテーマに開催されました。

母国ブラジルでの日本語学習オンラインコース開設のいきさつや会社名にこめた思い、ブラジル人学習者への日本語の教え方の工夫など、学習者の動画も交えながらお話しいただきました。学生からの熱心な質問もあり、大変有意義な時間となりました。





キューバの政治と国際関係

講師:小池康弘氏(外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻)

2017年度第9回グローバルセミナーが、10月18日(水曜日)に開催されました。外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻の小池康弘先生をスピーカーに迎え、「キューバの政治と国際関係」というテーマでお話しいただきました。

2016 年に革命のカリスマであったフィデル・カストロ前議長が死去したことは、日本でも大きなニュースとして取り上げられました。キューバの先行きが不透明である現在、キューバの政治体制と対外関係がどのように進んでいくのかについて、わかりやすく解説していただきました。





インドネシアではなぜ右ハンドルなのか—世界史の視点から見たアジア理解— 講師:小座野八光氏(外国語学部中国学科)

2017 年度第 10 回グローバルセミナーが、11 月 8 日 (水曜日) に開催されました。外国語学部中国学科の小座野八光先生をスピーカーに迎え、「インドネシアではなぜ右ハンドルなのか―世界史の視点から見たアジア理解―」というテーマでご講演いただきました。

世界には、自動車が左側通行(右ハンドル)である地域と、右側通行(左ハンドル)の地域が 分布しています。その理由について、私たちの身近にある生活を例に、植民地時代からの世 界の動きについて、解説してくださいました。視点を変えることによって、生活のさまざまな事 柄が世界史に深く結びついていることが納得できるセミナーでした。





ロシアのプーさん

講師: 半谷史郎氏(外国語学部国際関係学科)

11月22日(水曜日)のグローバルセミナーは、外国語学部国際関係学科の半谷史郎先生に「ロシアのプーさん」というタイトルでお話しいただきました。

セミナーでは、ロシアで 1969 年に発表された、ロシア映画「プーさん」を視聴しました。独特のリズム感や色遣いは、私たちになじみのあるディズニーの"Winnie the Pooh"とは全く異なるものでした。しかし、この日本でなじみのある「プーさん」も、イギリスの原作を基に、アメリカで変化したものだそうです。

私たちの身近にあるものには、別の地域から入ってきたものがたくさんあります。それがその地域に受け入れられていくプロセスにおいて、それぞれの文化に即した形で変化していく「文化移転」がおき、それがある文化に根付くための大切なポイントだということを、プーさんの映画をはじめ、さまざまな身近な事例をもとに解説してくださいました。





スイスでフランス語を学ぼう!

講師:モルガン・ダレン氏(外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)

2017 年度第 12 回グローバルセミナーが、12 月 13 日 (水曜日) に開催されました。外国語学部ヨーロッパ学科フランス語圏専攻のダレン・モルガン先生をスピーカに迎え、「スイスでフランス語を学ぼう!」というテーマでお話しいただきました。

フランス語を学ぶ学生が考える留学先としてまずイメージされるのは、フランスですが、スイスも魅力的な選択肢のひとつです。ダレン先生は、国際都市であるチューリヒや自然豊かなレマン湖畔の都市について、写真や動画で説明してくださいました。スイス留学への関心が高まるセミナーになりました。





海外で ER (救命救急室) へ運ばれたら? ―自分で適切な対処を行うための 10 の基礎知識―

講師:片岡由美子氏(看護学部看護学科)

12月20日(水曜日)に、iCoToBaで第13回グローバルセミナーを開催しました。看護学部看護学科の片岡由美子先生をスピーカーにむかえ、「海外で ER(救命救急室)へ運ばれたら?―自分で適切な対処を行うための10の基礎知識―」というテーマでお話いただきました。

片岡先生は、米国、英国、オーストラリアの事例を基に、留学中の健康管理や危機管理に 役立つ情報を、わかりやすく、かつ詳しく解説してくださいました。そのほか、いざというときに 役に立つ病院や薬局での英語表現もご紹介くださいました。





逆立ちした法の常識―イベリア世界の経験が教えてくれたこと

講師:川畑博昭氏(日本文化学部歴史文化学科)

1月10日(水曜日)に、iCoToBa で第 14回グローバルセミナーを開催しました。日本文化学部歴史文化学科の川畑博昭先生をスピーカーにむかえ、「逆立ちした法の常識 イベリア世界の経験が教えてくれたこと」というテーマでお話いただきました。

ある国では「当たり前」と考えられることが、別の地域では全く異なることがあること、制度が同じでない国の比較は安易に行えないことなどをご自身のペルーやスペインでの体験を交えて熱く語っていただきました。





ハーグ条約の概要と実際~外務省の業務を中心に

講師:こっとん志保氏(外務省領事局ハーグ条約室ハーグ条約専門員)

1月17日(水曜日)に、第15回グローバルセミナーを開催しました。外務省領事局ハーグ条約室のこっとん志保さんを講師に迎え、「ハーグ条約の概要と実際~外務省の業務を中心に」というテーマでお話いただきました。片方の親がもう一方の親の同意を得ずに16歳未満の子どもを国境を越えて移動させるという問題に対応するための国際的なルールであるハーグ条約について、こっとんさんは平易な言葉でまた事例をあげるなどしてわかりやすい形で解説してくださいました。今回はセミナーに続きディスカッションを行いました。講師が示した模擬ケースについて、当事者が問題を回避するのに取ることができた行動などについて議論しました。



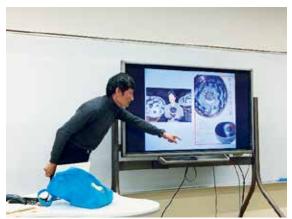


日本から古代中国が見える一中国と日本及び朝鮮半島とのゆかり一

講師:湯海鵬氏(教育福祉学部社会福祉学科)

第16回グローバルセミナーは、教育福祉学部社会福祉学科の湯海鵬先生をスピーカーにむかえ、「日本から古代中国が見える一中国と日本及び朝鮮半島とのゆかり一」というテーマでお話いただきました。5,000年続く漢民族ですが、その文化の多くは歴史の中で消滅してしまいました。しかし、実は日中間の遺唐使や朝貢などの交流によって、古代中国文化が日本で愛され引き継がれているという事実について、朝鮮半島とのゆかりにも触れながら、豊富なスライドを使って説明いただきました。





[表 5 2017年度開催グローバルセミナー一覧]

	[武 3 2017		
月日	講師	タイトル	参加者数
4/25	三根 伸太郎 (日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター 所長)	グローバル・ビジネス環境の変化と中部地域 の中堅・中小企業の海外展開支援	26
5/17	アンドレア・カールソン (教養教育センター)	We are all allies: Supporting children and young people with diverse backgrounds	22
5/31	高阪 香津美 (国際関係学科)	日本に生活するブラジル人とポルトガル語学 習	25
6/7	熊谷 吉治 (英米学科)	英語を専攻としない人にも役立つ(と嬉しい) 英語発音上達法	32
6/21	田中 敬一 (ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻)	東海地方におけるスペイン語生活支援	28
7/5	山本 かほり (社会福祉学科)	朝鮮民主主義人民共和国への修学旅行―在日朝鮮人学生と一緒に訪問して考えたこと	30
7/19	高島 忠義 (愛知県立大学 学長)	グローバル時代の終わりの始まり?	16
10/4	フィジオ・サラ・ロンガット (サンパウロ Mirai Idiomas 経営者)	ブラジルで日本語・日本文化を教える ーオンラインコースでの試みを中心に-	29
10/18	小池 康弘 (ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻)	キューバの政治と国際関係	10
11/8	小座野 八光 (中国学科)	インドネシアはなぜ右ハンドルなのか -世界史の視点からのアジア理解-	10
11/22	半谷 史郎 (国際関係学科)	ロシアの「プーさん」	12
12/13	モルガン・ダレン (ヨーロッパ学科フランス語圏専攻)	スイスでフランス語を学ぼう! -日本人学生にもっとも優しい環境-	23
12/20	片岡 由美子 (看護学科)	海外で ER(救命救急室)へ運ばれたら? 一自分で適切な対処を行うための基礎知識ー	11
1/10	川畑 博昭 (歴史文化学科)	逆立ちした法の常識 ーイベリア世界の経験が教えてくれたことー	22
1/17	こっとん 志保 (外務省領事局ハーグ条約室)	ハーグ条約の概要と実際 〜外務省の業務を中心に〜	75
1/24	湯 海鵬 (社会福祉学科)	日本から古代中国が見える -中国と日本及び朝鮮半島とのゆかり-	15

5 留学報告会

2017年度のiCoToBa での留学報告会は、毎週月曜日の昼休みに開催された。この報告会では、留学体験者が、留学先での学修や異文化体験などの紹介を通して、自身の学びをふりかえること、そして、これから留学を考える学生と、留学準備や現地情報等を共有することを目的としている。

2017 年度は、前後期あわせて 24 回開催した。前期は、留学報告会について知名度が低く、参加者が伸び悩んだが、Web サイトや Facebook 等の広報活動に力を入れた結果、後期には多くの学生が参加するようになった。

報告では、海外学術協定大学への留学のみならず、「トビタテ!留学 JAPAN」によるものや、幅広い専門分野の留学経験を扱い、外国語学部のみならず、全学の学生にとって意味のある情報提供を目指した。

	2017 年 度 前 期	留学報告会実施実績]
1 48 0		

月日	留学先	国名	参加者数
5月8日	四川師範大学	中国	3
5月15日	オッターベイン大学	米国	3
5月22日	トンプソン リバーズ大学	カナダ	13
5月29日	プレスビテリアン大学	米国	8
6月5日	カトリカ大学	ペルー	3
6月12日	シベリア連邦大学	ロシア	3
6月19日	パリ語学留学(サマースクール)	フランス	6
6月26日	チュービンゲン大学	ドイツ	9
7月3日	サンパウロ大学	ブラジル	5
7月10日	グアダラハラ大学	メキシコ	3
7月17日	サザビーズ美術大学	米国	3
7月24日	ラ・トローブ大学	オーストラリア	2
		12 回開催 参加者のべ数	61





[表7 2017年度後期 留学報告会実施実績]

月日	留学先(学校名)	国名	参加者数
10月9日	ライプチヒ大学	ドイツ	35
10月16日	カトリカ大学	ペルー	14
10月26日	セントラルランカシャー大学	イギリス	8
10月30日	アリゾナ州立大学	アメリカ	8
11月6日	ニューカッスル大学	イギリス	11
11月13日	ケルン大学	ドイツ	9
11月20日	グアダラハラ大学	メキシコ	21
11月27日	アリカンテ大学	スペイン	34
12月4日	トゥールーズ大学	フランス	21
12月11日	ニューカッスル大学	イギリス	8
12月18日	ケベック大学	カナダ	10
1月15日	テイラーズ大学	マレーシア	8
12 回開催 参加者のべ数			187





6 外部・地域との連携事業

グローバル実践教育推進室では、地域産業界や自治体等と連携し、地域社会における課題解決を目指した学習機会や地域でのボランティア活動の機会を学生に提供している。

2017 年度は、①中央日本総合観光機構との協働による、愛知県の魅力を英語で発信する プロジェクト(DMO プロジェクト)、②世界青少年発明工夫展 2017 でのボランティア活動を実施した。ここでは、①②に加えて、「グローバル実践教育プログラム」の一環で開講している「地域ものづくり学生共同プロジェクト」もあわせて報告する。

6.1. APU-DMO Collaborative Project: The Hidden Charm of Aichi

This event was held as part of the iCoToBa PBL-Based Local Action Course: APU-DMO Collaborative Project, carried out in conjunction with Go Central Japan, our region's destination marketing organization (DMO). On this event, held from 11:30 to 13:00 on November 23rd, Ashley Harvey, Chief Operations Officer of Go Central Japan, came to Aichi Prefectural University and gave a talk on the subject of international tourism in the Chubu region. After Mr. Harvey's talk, two teams of APU students plus one high school student gave presentations about their upcoming tourism projects. The event was attended by Japanese and international students, as well as many high school students who had come for the School of Foreign Studies' mini-open campus. There were also some educators from local school districts as well. Mr. Harvey's talk was lively and engaging, and he was also impressed with our students' efforts. (Brett HACK)





6.2.世界青少年発明工夫展 2017 での学生ボランティア

2017年7月27日から7月29日にかけて名古屋市国際展示場で開催された「世界青少年発明工夫展2017(主催:公益社団法人発明協会、共催:愛知県、名古屋市、一般社団法人愛知県発明協会)」で、本学の学生が、外国語スタッフとしてボランティア活動に取り組んだ。世界青少年発明工夫展は、アジア諸国を中心として毎年開催されている国際展覧会であり、2017年

の大会は、トヨタグループの創始者である豊田佐吉氏の生誕150周年を記念し、愛知県で開催された。同じ会場でロボカップ2017も開催され、海外からも多くの来場者があった

この会議に、ボランティアとして参加した学生は、外国語学部の学生27名(内訳:英米学科6名、ヨーロッパ学科フランス語圏専攻3名、ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻3名、ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻3名、ヨーロッパ学科バツ語圏専攻2名、中国学科2名、国際関係学科11名)である。

ボランティア参加学生は、7月12日に本学で開催されたボランティア研修に参加し、事前に会場の展示や専門用語を学習した上でボランティアに取り組んだ。会場では、トヨタグループの社員と共に佐吉翁コーナーとからくりコーナーを担当した。参加学生は、トヨタ自動車株式会社より、「ボランティア参加証明書」が交付された。

「表8 世界青少年発明工夫展2017ボランティア参加人数(のべ数)]

月日	参加人数
7月27日(木曜日)	19
7月28日(金曜日)	12
7月29日(土曜日)	20
合計(のべ数)	51

ボランティア実施後に、アンケートを実施し、21 名から回答を得た(回収率 77.8%)。結果は 以下の通りである。

「表9 世界青少年発明工夫展2017ボランティアアンケート結果」

	[数] 医外有多十元列工人成2017(1) 7 7 7 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
	回答(5~1を選択:数字は人		は人				
	質問	数)					平均值
		5	4	3	2	1	
1	会場で、自分の語学力で十分業務ができた	1	12	5	2	1	3.48
2	このボランティアに参加することで、自分の	6	11	4	0	0	4.10
4	視野を拡げることができた	ることができた 6 1	11	4	U	U	4.10
3	このボランティアに参加して、異文化理解が	5	10	4	1	1	2 01
0	深まった	5 10		4	1	1	3.81
4	このボランティアに参加して、外国語(英語)	12	8	1	0	0	4.52
4	の勉強に力を入れようと思った	12	٥	1	U	U	4.32
5	このボランティアに参加してよかったと思う	11	8	2	0	0	4.43

(選択肢 5:非常にそう思う-3:どちらとも言えない-1:全くそう思わない)

自由記述から一部抜粋し、紹介する。

- ✓ 中国から来た女の子が日本語が分からなかったので、自分の担当していた展示全体を説明しながらいっしょにまわった。最後に「ありがとう」と笑顔で言われたことがとても嬉しかった。
- ✓ ドイツから参加していた女の子が機織り機の体験をした際に、目を輝かせて感動していた

こと。自国にはない文化を経験することができ、大会に参加するだけでなく日本のことも知れてよかったと話してくれた。

- ✓ 外国人の方の中には英語が通じない人や少ししかわからない人が私の予想以上にたくさんいて英語は万国共通ではないということを痛感しました。今後は英語に加えてもう一言語できるように勉強していきたいと考えています。
- ✓ 通訳として参加することができ、自分の語学力を実践的に試すことができたこと以上に、 視野を広げることができてよかった。ものづくり産業に携わる方たちとの交流を通して、今 まであまり興味を持ってなかった業界について理解を深めることができ、自分の将来を考 えるうえでよい機会になったと思う。今回の経験をこれからにも生かしていきたいと思う。



写真: トヨタグループ社員との 記念撮影(7月29日)

6.3.地域ものづくり学生共同プロジェクト

「地域ものづくり学生共同プロジェクト」は、「グローバル人材プログラム(2017 年度よりグローバル実践教育プログラム)」の指定科目として、2015 年度前期から毎学期開講している。本授業の目的は、留学を経験した学生を中心に多様な学生がチームを形成し、プロジェクトに取り組み、自身の異文化経験や専門性を活かしながら、課題解決力やマネジメント能力を養成することを目指している。授業担当は、宮谷敦美(国際関係学科)、坂本ファーン(南山大学外国語学部)およびハック・ブレット(iCoToBa)が協力教員として参加している。前期は17名、後期は28名が参加した。

プロジェクトの課題は、東海地域にあるものづくり企業を取材し、企業ニーズや業界研究をしたうえで、広報戦略を策定し多言語による成果物を作成することである。プロジェクトでは、外国語での記事や動画の作成とあわせて、最後に企業関係者を前にプレゼンテーションを行い、記事作成の意図について説明する。そのため、外国語による文章表現力だけでなく、わかりやすく他者に伝える力を身に付けることも目的としている。

プロジェクト遂行に必要なスキルとして、学生は(1)業界研究のしかた、(2)インタビュー計画の設計方法、(3)効果的に質問するスキル、(4)記事タイトルと構成のつくりかた、(5)わかりやすいスライド作成とプレゼンテーションのしかたなどを学んだ。成果発表会は、前期は7月29日に

名鉄観光サービス株式会社本社で、後期は1月27日にサテライトキャンパスで開催された。 成果発表会でのディスカッションをもとに、学生は記事にさらに改善を加え、広報物を完成させた。

2017年度に協力いただいた企業と、作成した広報成果物は以下の通りである。

[表10 2017年度地域ものづくり学生共同プロジェクト参加企業および成果物]

学期	企業名	広報成果物		
	創嘉瓦工業株式会社(高浜市)	記事(英語、フランス語、中国語、日本語)		
	周新以工未体八云位(同供川)	動画(英語、フランス語)		
前期	株式会社村瀨鞄行(名古屋市)	記事(英語、フランス語、中国語、ロシア語、		
刊初	体人云红竹旗靶11(右百座川)	日本語)、動画(ロシア語)		
	有限会社山本屋(名古屋市)	記事(英語、中国語、ポルトガル語、日本語)		
	有限云红山本座(石百座川)	動画(日本語)		
	有限会社スギウラクラフト(蒲郡市)	記事(英語、ドイツ語、中国語、ポルトガル		
	有限式化ペイソフグファト(補利111)	語、日本語)		
	小笠原製粉株式会社(碧南市)	記事(英語、ドイツ語、中国語、ロシア語、日		
後期	小立原表仍体八云征(岩闸川)	本語) 動画(日本語)		
	株式会社 Coarse Stars(岡崎市)	記事(英語、フランス語、スペイン語、ドイツ		
	体入五社 Coarse Stars(呵呵川)	語、日本語)		
	太田油脂株式会社(岡崎市)	記事(英語、ドイツ語、中国語、日本語)		

なお、この教育プロジェクトは「地域のグローバル化を支える人材育成」として注目され、マスコミにも取り上げられている。学生が作成した記事は、実際に企業の PR 活動等に使われており、学生がプロジェクトに取り組む動機づけにもつながっている。また、これまでにプロジェクトを受講した学生が、プロジェクト終了後にも継続して活動を続けている事例がある。2017 年度は、前期に真珠製品開発、後期に高浜市のインバウンド観光プロジェクト、ランドセル商品開発を行った。

[学生が作成した記事例]

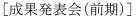


2017年の本プロジェクトは、取材先の各企業をはじめ、JETRO名古屋、三井物産株式会社中部支社、百五銀行、名鉄観光サービス株式会社、岡崎商工会議所の協力により実施された。学生に大きな学びの機会を与えてくださった皆様、学生の情報収集や外国語原稿にコメントをくださった皆様に感謝申し上げます。

[表 11 2017 年度「地域ものづくり学生共同プロジェクト」メディア掲載]

月日	タイトル	発表媒体
2月27日	企業へ学生パワー9カ国語で4社PR記事 県立大、留学経験を生かす	朝日新聞
11月30日	高浜市×愛知県立大学	キャッチネットワーク
11 /1 30 🛱	外国人観光客を呼び込む	「KATCH TIME30」
10月9日	課題解決に学生の知恵 愛知のものづくり継承	日経産業新聞
9月23日	大学×企業 銀行が仲人 新商品に知恵、東海で広がる	朝日新聞
8月24日	地元の商品 多言語で発信 企業の海外展開支援	読売新聞
7月29日	県大と地元企業がコラボレーション	テレビ愛知
1 /3 29 H	示八C地儿正未が10/mレープコン	「TXN ニュース」
5月12日	県立大×地元企業 海外展開学生が協力	毎日新聞
4月26日	若い美真珠で引き立つ	読売新聞

[企業取材]







7 学生活動

iCoToBa Supporters Club (ISC)

iCoToBa Supporters Club(ISC)は、2013 年秋に iCoToBa イベントの企画・運営を主体的に 行う学生団体として発足した。イベントの組織的・継続的運営を行うことを目的に、現在は ISC のコアメンバーを少人数に絞り、イベントごとに、参加者を募集している。

今年は 4 月に外国語学部だけでなく、外国語学部以外の学生も対象に新入生メンバーを募集した。応募する学生は、「留学生との交流イベント案」を提出してもらい、ISC メンバーが各学科で最も良い案を選出する方法で決定した。その結果、外国語学部の学科専攻から各1名と、国語国文学科と社会福祉学科から各1名、計8名が新たなメンバーとなった。

後期に開催した「留学生歓迎会 秋」からは、ISC に加入した 1 年生が中心となり、上級生のサポートを受けながらイベント企画、ポスター作成、参加者の募集、準備、当日の運営など全てを行っている。

このように前期から参加した 1 年生がメンバーが 2 年生から引継ぎをうけ、ノウハウを委譲していく方法は、2 年前から行われている。今年は、引継ぎのうち理解できている部分とそうでない部分があったようで、不慣れなうちは国際交流室への協力依頼や国際交流費の申請方法、備品の管理等で問題点もあったが、その経験を生かして 1 年生から ISC のイベントマニュアルを作成したいという要望があり、自発的に改善が進んでいる。

2017 年度は、以下の 5 つの活動を行った。それぞれのプログラム内容については、第 3 章 の iCoToBa イベント実施報告(pp.28-37)を参照されたい。

1) 留学生歓迎会 春 2017年4月26日(水曜日)

2) 日本の遊び大会 2017年6月28日(水曜日)

3) 留学生送別会 夏 2017年7月19日(水曜日)

4) 留学生歓迎会 秋 2017年10月18日(水曜日)

5) 留学生送別会 冬 2017年12月20日(水曜日)





「ISCメンバーの感想】

今年度は iCoToBa が全学開放され、のシステムが変わった中での活動でした。不安な点も

ありましたが、メンバーと iCoToBa のスタッフが協力し、試行錯誤を繰り返しながら良い方向へ行けたと思います。4月に新メンバーを募集した際にも沢山の応募があり、ISC の活動も少しずつ認知されてきたと感じました。昨年度に引き続き、留学生と県大生を結びつけることを目標に Welcome Party や Farewell Party を中心に企画をしました。参加人数がまだ思うように伸びないこともあり、iCoToBa への関心や認知を広げていくことが課題だと感じているので、来年は外国語学部以外の県大生も巻き込んでより活動の幅を広げていきたいと思います。

(ヨーロッパ学科ドイツ語圏専攻2年 大櫛啓)

ドイツ語サークル

ドイツ語サークルは、毎週木曜日の12:50~14:20 に行われた。楽しく遊びながらドイツ語を勉強したり、授業ではできない細かい文化や言語について話しあった。生きているドイツ語を使いながら、ドイツの知識も得られるので、とてもよい活動になったと思う。

毎週フレッシュな1年生からもうすぐ卒業する4年生まで誰でも参加できる。また、1回だけ参加する人から毎週参加して友達を作りたい人まで、みんなで楽しい時間を過ごせた。

iCoToBa にはさまざまな言語ゲームがそろっていて、それをよく使った。習ったドイツ語を使うゲームに挑戦して、今まで考えたことがないことを考えた。活動中にわからないことも相談できるので、理解できないことがあれば、グループ全員で話し合い、解決することができた。

ドイツ語サークルは、ドイツ人と出会えるチャンスであり、毎年新しい留学生も参加している。普段の大学生活ではなかなか知り合うのは難しいが、このようなサークルがあることで、気軽に話したり仲良くなったりすることができ、個別の会話練習相手が欲しい人も、サークルで探すことができる。

ドイツ語サークルは、ドイツ人と日本人が一緒に楽しい時間を過ごせる機会なので、今後もドイツ 人留学生が中心になり、続けていきたい。

(報告:国際文化研究科特別聴講生 クラウゼ・フェリックス)





8 成果物

8.1 教材開発

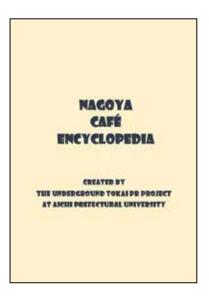
Japan Contents Culture Translation Project: Final Publication

This was the final project for my course Japan Contents Culture Translation Project. Only one student joined the class, a 4th-Year Japanese Studies student. However, she was motivated both to translate and write about Japanese culture in English. We worked to produce not only translations but critical essays. She wrote two essays about a Japanese shojo manga, commenting on the themes of reader affect and depictions of youth sociality. In addition she composed English translations of section of the manga which related to her essays. Both the essays and the translations have been posted on the iCoToBa website. (Brett HACK)



Underground Tokai Project : Nagoya Café Guide

This was the final project for the iCoToBa PBL-Based Local Action Course: Underground Tokai PR Project. The class consisted of two teams of four students each, who collaborated on the same project. We planned and designed an English guide to café culture in the Nagoya area. It included shop information and student-written reviews, as well as explanations of café styles, manners, and Japanese expressions. Students coordinated with shop owners to make sure their information was accurate, and organized the book in an easy-to-use online format. The finished project was very beautifully designed, and is now on the iCoToBa website. It is hoped that we can get local tourism boards to post it on their sites as well. (Brett HACK)



8.2 教育活動

iCoToBaでは、プロジェクト型学習(PBL型学習)や交流型学習を積極的に取り入れている。 学習成果発表や外部機関との交流に基づく教育活動について紹介する。

APU-DMO Collaborative Project: The Hidden Charm of Aichi

This was the final project for the iCoToBa PBL-Based Local Action Course: APU-DMO Collaborative Project. This was carried out in conjunction with Go Central Japan, our region's destination marketing organization (DMO). Two student teams of 3 members, including one high school student, researched local tourist destinations in Aichi. Their final choices were the Arimatsu neighborhood in Nagoya and the miso factories of Okazaki. After researching, the teams planned and designed tourist promotional materials that followed the principles of the DMO's destination marketing strategies. They focused on brand-creation, storytelling, and creating the promise of an "experience" for international visitors, using appropriate English rhetorical style. The final products will be posted on the iCoToBa and DMO websites. The professional job done by the two teams will hopefully be an impetus to expand the project from next year. (Brett HACK)





Open Class: Diversity and the Social Imagination – Final Conference

This event was simultaneously the final lesson for Brett HACK's advanced English course, "Diversity and the Social Imagination" and a showcase for the global impetus within iCoToBa courses. Students in the course had completed collaborative projects in which they formed an argument and action plan about a chosen social issue. In order to strengthen students' sense of accomplishment and to increase the rigor of the class, the final lesson was conducted as an academic conference. This took place on February 1st 2018 from 14:30 am to 16:00 pm. Three teams presented their findings with accompanying slides. The other class members read the presenters' arguments beforehand and prepared challenging questions. These were asked at the end of each reading, and were followed by lively discussions. Professors from other departments were also invited. A convivial reception with a selection of food and drinks followed the event. (Brett HACK)









9 広報活動

9.1 iCoToBa 公式 Web サイトでの発信

iCoToBa は、2013 年の開設にあわせ、公式 Web サイトを開設した。iCoToBa の利用促進、外国語学習に役立つ施設となるための補助的機能を果たすことを目的に、さまざまな情報発信をしている。「Pickup Information」と「新着情報」を定期的に更新し、iCoToBa で行われるイベントや講座などを広く発信した。更新日とタイトルを表 12 に示す(2018 年 1 月 31 日現在)。

[表12 2017年度iCoToBa公式Webサイトでの情報提供]

更新日	タイトル
2017.4.5	2017年度前期「地域ものづくり学生共同プロジェクト」説明会のお知らせ
2017.4.6	International Cooking Event 開催のお知らせ
2017.4.10	死者の日"Diá de los Muertos"イベント開催のお知らせ
2017.4.11	2017年度前期 iCoToBa 外国語科目受講申込を開始しました
2017.4.11	4月19日(水)メキシコ・インターンシップ帰国報告会のお知らせ
2017.4.17	2017年度 第1回グローバルセミナーのお知らせ
2017.4.19	4月26日(水)ポルトガル語圏からの留学生との交流会のお知らせ
2017.4.27	iCoToBa が YouTube に公式チャンネルを立ち上げました!!
2017.5.11	2017年度 第2回グローバルセミナーのお知らせ
2017.5.12	5月15日(月)から、フランス語・スペイン語・ドイツ語・中国語の留学生iContact が始まります
2017.5.18	地域コミュニティ言語講座「ビジネス中国語入門講座」の開講について
2017.5.19	2017年度 第3回グローバルセミナーのお知らせ
2017.5.29	地域コミュニティ言語構座「医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語構座」について
2017.5.30	2017年度 第4回グローバルセミナーのお知らせ
2017.6.6	地域コミュニティ言語講座「医療現場で役立つスペイン語入門講座」について
2017.6.7	2017年度 第5回グローバルセミナーのお知らせ
2017.6.22	2017年度 第6回グローバルセミナーのお知らせ
2017.6.22	「中国とアメリカの食文化を知ろう」イベントのお知らせ
2017.6.22	英語 e-Learning「ALC NetAcademy NEXT」利用説明会のお知らせ
2017.7.4	7月14日(金)スウェーデン文化体験イベントのお知らせ
2017.7.10	2017年度 第7回グローバルセミナーのお知らせ
2017.7.10	2017 年度 iCoToBa サマープログラムのお知らせ
2017.7.25	ペルーの写真展示のお知らせ
2017.7.28	夏休み中の iCoToBa 開室時間について
2017.8.2	【申込期間延長】iCoToBa サマーコース受講申込について
2017.8.7	8月7日(月)は午後から閉室します

更新日	タイトル
2017.8.21	manaba のサーバメンテナンスについて
2017.9.13	【9月14日(木)説明会実施】運営・通訳スタッフ募集のお知らせ
2017.9.19	2017年度 第8回グローバルセミナーのお知らせ
2017.9.25	2017 年度後期 iCoToBa 外国語科目受講申込を開始しました
2017.9.25	地域コミュニティ言語講座「教育分野ポルトガル語入門講座」について
2017.9.26	2017 年度後期の iContact の予約がスタートしました!
2017.10.3	留学前準備講座韓国語が開講しました!
2017.10.4	地域コミュニティ言語構座「医療現場で役立つスペイン語入門講座その2」の開講こついて
2017.10.4	[注意]iCoToBa 留学前準備講座(仏)(独)について
2017.10.11	2017年度 第9回グローバルセミナーのお知らせ
2017.10.18	2017年度 第10回グローバルセミナーのお知らせ
2017.10.19	10月23日(月)から留学生 iContact が始まります!
2017.10.30	【11月17日(金)】英語e-Learning「ALC NetAcademy NEXT」利用説明会のお知らせ
2017.11.9	2017年度 第11回グローバルセミナーのお知らせ
2017.11.14	【11/23(木・祝)11:00~12:30】愛知県立大学・中央日本総合観光機構連携セ
	ミナー『愛知県を世界にアピール-英語による観光発信プロジェクト』特別講演
	及び成果発表会を開催します。
2017.11.20	地域コミュニティ言語講座「介護分野ポルトガル語入門講座」について
2017.11.22	2017年度 第12回グローバルセミナーのお知らせ
2017.12.14	2017年度 第13回グローバルセミナーのお知らせ
2017.12.21	2017年度 第14回グローバルセミナーのお知らせ
2017.12.21	2017年度 第15回グローバルセミナーのお知らせ
2018.1.19	2017年度 第16回グローバルセミナーのお知らせ
2018.1.19	iCoToBa 春季講座「TOEFL iBT スタート講座」について

9.2. SNS での発信(Facebook)

より多くの学生に情報発信を行うために、2017 年 4 月に iCoToBa の Facebook「愛知県立大学 icotoba (あいことば)」を開設した。週に 1 回以上の更新を目標に、学生が読みやすいカジュアルな文章や写真を多くアップした。iCoToBa 内でも Facebook の認知度を高めるポスターの掲示や、ページへのアクションキャンペーンを行った結果、2018 年 1 月 31 日現在でフォロワー数は 148 人、「いいね!」をした人数は 118 人になった。記事の公開日、内容、リーチ数、クリック/アクション数は、表 13 の通りである(2018 年 1 月 31 日現在)。

[表13 2017年度 Facebookによる発信状況]

	[X13 2017年及 Taccoookicよる光旧状况]		クリック/
公開日	投稿内容	リーチ	アクション
2017.4.13	iCoToBa が Facebook をはじめました!	287	19
2017.5.9	American English at State のシェア	76	6
2017.5.11	iCoToBa で、グローバルセミナーが始まります!	128	13
2017.5.11	A quick lesson on a common mistake	40	5
2017.5.12	留学報告会(中国・四川師範大学)報告	151	24
2017.5.15	"They" can refer to one person.	78	5
2017.5.16	留学報告会(アメリカ・オッターベイン大学)報告	148	30
2017.5.18	第2回グローバルセミナー報告	418	52
2017.5.18	地域コミュニティ言語講座「ビジネス中国語」広報	145	11
2017.5.19	地域コミュニティ言語講座「医療看護分野ポルトガル語入門」広報	40	3
2017.5.24	American English at State のシェア	42	2
2017.5.24	End of the month movie for May 広報	192	19
2017.5.29	留学報告会(カナダ・トンプソンリバーズ大学)報告	263	39
2017.5.29	ブラジルイベント(グローバルセミナー、カポエイラ)	95	9
2017.5.29	Interested in participating in a national speech contest?	69	9
2017.5.30	留学報告会(アメリカ・プレスビテリアン大学)報告	224	29
2017.6.1	第3回グローバルセミナー報告	205	24
2017.6.5	第4回グローバルセミナー広報	120	9
2017.6.5	スペイン語の日広報	0	0
2017.6.5	地域コミュニティ言語講座「医療看護分野ポルトガル語入門」広報	114	9
2017.6.6	地域コミュニティ言語構座「医療見場で役立つスペイン語入り開座」広報	76	7
2017.6.6	留学生 iContact 報告	138	30
2017.6.7	第4回グローバルセミナー広報	78	2
2017.6.7	地域コミュニティ言語講座広報	39	1
2017.6.8	留学報告会(ペルー・カトリカ大学)報告	63	15
2017.6.8	第4回グローバルセミナー報告	92	29
2017.6.9	地域コミュニティ言語講座「ビジネス中国語」広報	46	1
2017.6.12	iCoToBa Supporters Club イベント広報	454	30
2017.6.14	地域コミュニティ言語講座「医療看護分野ポルトガル語入門」広報	42	2
2017.6.14	スペイン語の日イベント広報	61	3
2017.6.16	地域コミュニティ言語構図医療現場で役立つスペイン語入門講座」広報	62	2
2017.6.16	留学報告会(ロシア・シベリア連邦大学)報告	135	30
2017.6.16	外国語おもてなしボランティア広報	74	5
2017.6.19	第5回グローバルセミナー広報	87	2
2017.6.20	留学報告会(ユーロセンター/パリ校・フランス)報告	238	39

公開日	投稿内容	リーチ	クリック/
2017.6.20	スペイン語の日イベント広報	29	アクション 1
2017.6.21	第5回グローバルセミナー広報	36	0
2017.6.21	第5回グローバルセミナー報告	62	13
2017.6.27	留学報告会(ドイツ・チュービンゲン大学)報告	478	51
2017.6.30	アメリカ・中国の食生活を知ろうイベント広報	155	7
2017.7.3	スウェーデン文化イベント広報	0	0
2017.7.3	第6回グローバルセミナー広報	85	7
2017.7.4	iCoToBa Supporters Club イベント広報	95	5
2017.7.6	留学報告会(ブラジル・サンパウロ大学)報告	197	27
2017.7.6	スウェーデン文化イベント広報	98	5
2017.7.10	第6回グローバルセミナー報告	538	62
2017.7.11	留学報告会(メキシコ・グアダラハラ大学)報告	82	22
2017.7.12	スウェーデン文化イベント広報	84	4
2017.7.12	スウェーデン文化イベント広報	94	5
2017.7.17	アメリカ・中国の食生活を知ろうイベント報告	557	68
2017.7.17	第7回グローバルセミナー広報	138	9
2017.7.18	留学報告会(アメリカ(ニューヨーク)/メキシコ)報告	183	31
2017.7.18	iCoToBa サマーコースの広報	100	6
2017.7.19	第7回グローバルセミナー広報	41	0
2017.7.24	iCoToBa サマーコースの広報	104	8
2017.7.25	ペルーの写真展広報	185	10
2017.7.27	留学報告会(オーストラリア・ラ・トローブ大学)	281	42
2017.7.27	iCoToBa サマーコースの広報	63	2
2017.8.2	iCoToBa サマーコースの広報	48	0
2017.8.2	グローバル実践教育プログラム動画(パート1)	118	6
2017.8.2	グローバル実践教育プログラム動画(パート2)	111	7
2017.8.21	DMO(地方開発プロジェクト)広報	187	16
2017.9.13	運営・通訳スタッフ募集広報	70	7
2017.9.15	第8回グローバルセミナー広報	243	17
2017.9.22	留学報告会運営スタッフ募集広報	58	7
2017.9.25	DMO(地方開発プロジェクト)広報	227	6
2017.9.25	iCoToBa 後期授業広報	126	4
2017.9.25	iCoToBa 後期授業広報	116	16
2017.9.26	iCoToBa 後期授業広報	52	4
2017.9.28	iCoToBa 後期授業広報(英語)	243	10
2017.10.2	iCoToBa 後期授業広報	158	0

公開日	机箱内容	リーチ	クリック/	
公用口	<u>投稿</u> 内容	9-9	アクション	
2017.10.2	第8回グローバルセミナー広報	139	3	
2017.10.5	留学報告会(ドイツ・ライプチヒ大学)広報	132	15	
2017.10.6	iCoToBa 後期授業広報	62	8	
2017.10.9	iCoToBa 後期授業広報	62	6	
2017.10.9	留学報告会(ドイツ・ライプチヒ大学)報告	918	187	
2017.10.11	iCoToBa 後期授業広報(英語)	47	3	
2017.10.11	第9回グローバルセミナー広報	207	2	
2017.10.12	iCoToBa 後期授業広報(英語)	48	2	
2017.10.15	留学報告会(ペルー・カトリカ大学)広報	157	5	
2017.10.18	留学報告会(ペルー・カトリカ大学)報告	365	64	
2017.10.19	留学報告会(イギリス・セントラル・ランカシャー大学)広報	75	10	
2017.10.19	留学生 iContact 広報	260	44	
2017.10.20	第8回グローバルセミナー報告	109	16	
2017.10.23	留学報告会(イギリス・セントラル・ランカシャー大学)広報	60	4	
2017.10.24	留学報告会(イギリス・セントラル・ランカシャー大学)広報	59	1	
2017.10.26	留学報告会(アメリカ・アリゾナ州立大学)広報	60	3	
2017.10.31	留学報告会(イギリス・セントラル・ランカシャー大学)報告	203	63	
2017.10.31	留学報告会(イギリス・ニューカッスル大学)広報	54	2	
2017.11.2	留学報告会(アメリカ・アリゾナ州立大学)報告	87	20	
2017.11.6	iCoToBa Facebook 広告キャンペーン	75	8	
2017.11.6	第10回グローバルセミナー広報	76	10	
2017.11.8	第10回グローバルセミナー広報	61	5	
2017.11.8	第10回グローバルセミナー報告	96	15	
2017.11.9	ものづくりプロジェクト観光イベント広報	49	6	
2017.11.9	留学生トークシリーズ①広報	0	1	
2017.11.10	留学報告会(イギリス・ニューカッスル大学)報告	101	30	
2017.11.10	留学報告会(ドイツ・ケルン大学)広報	69	10	
2017.11.14	第 11 回グローバルセミナー広報	84	7	
2017.11.16	留学生トークシリーズ①広報	185	25	
2017.11.17	留学報告会(ドイツ・ケルン大学)報告	163	44	
2017.11.17	留学報告会(メキシコ・グアダラハラ大学)広報	73	5	
2017.11.20	DMO(地方開発プロジェクト)広報	75	6	
2017.11.21	地域コミュニティ言語帯座「介護分野ポルトガル語入門講座」広報	61	5	
2017.11.22	第 11 回グローバルセミナー広報	55	1	
2017.11.23	DMO(地方開発プロジェクト)広報	78	23	
2017.11.24	第 11 回グローバルセミナー報告	82	21	

			クリック/	
公開日	投稿内容	リーチ	アクション	
2017.11.24	留学報告会(メキシコ・グアダラハラ大学)報告	95	30	
2017.11.24	留学報告会(スペイン・アリカンテ大学)広報	47	1	
2017.11.24	DMO(地方開発プロジェクト)報告	73	16	
2017.11.27	Brett from iCoToBa in a voice mapping experiment	87	9	
2017.12.1	ドイツ・クリスマス会の広報(イベント追加)	0	0	
2017.12.1	ドイツ・クリスマス会の広報	57	6	
2017.12.1	留学報告会(スペイン・アリカンテ大学)報告	111	22	
2017.12.1	留学報告会(フランス・トゥールーズ大学)広報	198	18	
2017.12.8	留学報告会(フランス・トゥールーズ大学)報告	248	52	
2017.12.8	留学報告会(イギリス・ニューカッスル大学)広報	37	1	
2017.12.8	第12回グローバルセミナー広報	65	11	
2017.12.11	ドイツ・クリスマス会の広報	71	7	
2017.12.11	ドイツ・クリスマス会、留学生トークの広報	43	4	
2017.12.13	第12回グローバルセミナー広報	43	5	
2017.12.13	第12回グローバルセミナー報告	81	24	
2017.12.14	ドイツ・クリスマス会、留学生トークの広報	26	1	
2017.12.14	留学報告会(イギリス・ニューカッスル大学)報告	63	11	
2017.12.14	留学報告会(カナダ・ケベック大学)広報	37	4	
2017.12.14	第13回グローバルセミナー広報	43	2	
2017.12.15	留学生送別会広報	53	8	
2017.12.20	第13回グローバルセミナー広報	53	1	
2017.12.25	留学報告会(カナダ・ケベック大学)報告	72	13	
2017.12.25	第 14 回、第 15 回グローバルセミナー広報	64	6	
2017.12.27	第13回グローバルセミナー報告	62	11	
2018.1.9	第 14 回グローバルセミナー広報	43	3	
2018.1.15	留学生トーク広報	56	8	
2018.1.18	第 14 回グローバルセミナー報告	81	9	
2018.1.19	留学報告会(マレーシア・テイラーズ大学)報告	81	16	
2018.1.19	iCoToBa 春季講座「TOEFL iBT」広報	59	6	
2018.1.19	第16回グローバルセミナー広報	98	13	
2018.1.24	第 16 回グローバルセミナー広報	41	2	
2018.1.24	第 15 回グローバルセミナー報告	653	115	
2018.1.24	ヨーロッパ学科フランス語圏専攻卒業生講演広報	50	5	
2018.1.25	iCoToBa 上級クラスのプレゼンテーション広報(日本語)	0	0	
2018.1.25	iCoToBa 上級クラスのプレゼンテーション広報(英語)	35	2	
	全投稿数:143	17367	2121	

9.3. SNS での発信(YouTube)

Facebook による広報に加え、You Tube を活用した発信も行っている。とくに、外国語学習に関する成果を動画で発信することは、学生のモチベーションにもつながる。また、外国人教員による英語での動画発信は、学生の外国語学習の一助ともなる。2018 年 1 月 31 日現在、チャンネル登録数は 17 であり、視聴回数もまだ少ないが、今後、より充実したコンテンツに成長させていく予定である。You Tube の ID は iCoToBa Multilingual Learning Center である。

[表14 2017年度 Facebookによる発信状況]

公開日	タイトル	視聴	評価
		回数	回数
2017.4.3	iCoToBa's Video Library / iCoToBa の映画コレクション	45	1
2017.4.3	"Nagoya City Budget Allocation" Intro Video 「上級クラスのプレゼン: 名古屋市予算分配」の紹介動画		0
2017.4.3	Advanced Class Presentation: Nagoya City Budget Allocation – 上級クラスのプレゼン:名古屋市予算分配	30	0
2017.4.3	"Anti-Hate Speech" Intro Video 「上級クラスのプレゼン: へートスピーチと戦う」の紹介動画	29	0
2017.4.3	Advanced Class Presentation: Anti-Hate Speech — 上級クラスのプレゼン: ヘートスピーチと戦う	42	1
2017.4.3	"School Textbooks Screening System" Intro Video 「上級クラスのプレゼン: 教科書の検定制度」の紹介動画	40	0
2017.5.24	End of the Month Movie for May - 『月末ムービー』:5 月の映画紹介	44	2
2017.5.29	speech contest flyer	17	0
2017.8.2	The Program for Applied Global Education – How to Use the Certificate of Completion (Part 1)	17	0
2017.8.2	The Program for Applied Global Education – How to Use the Certificate of Completion (Part 2)	28	1
2017.11.26	Brett from iCoToBa in a voice mapping experiment		0
	全投稿数:11	326	5

9.4. manaba による情報発信

現在、インターネットポートフォリオシステム manaba は、外国語学部の学生のみにアカウントが配布されている。そのため、全学化された iCoToBa の広報としては補助的な役割となっている。しかし、留学に関する情報は、manaba の掲示板に多く掲載されており、学生の自発的な情報交換も活発に行われている。iCoToBa では、manaba コミュニティ「みんな集まれ iCoToBa 広場」を運営しており、iCoToBa のイベントやセミナー情報を随時掲載し、情報提供を行った。2018年1月31日現在、manaba コミュニティ「みんな集まれ iCoToBa 広場」の登録メンバーは、525人で、内訳は、学生506名(1年生98名、2年生153名、3年生40名、4年生215名)、教職員19名である。

2017 年度にコミュニティ掲示板に投稿したスレッドは表 15 の通りである(2018 年 1 月 31 日 現在)。

[表15 2017年度 manabaによる情報発信]

	[X13 2017年及 Inanadares の自和光日]
更新日	タイトル
2017.5.11	5月17日(水)12:05~12:50 第2回グローバルセミナーのお知らせ
2017.5.12	5/15(月)からフランス語・スペイン語・ドイツ語・中国語での iContact が始まります!!!
2017.5.18	5/31(水)10:30~ブラジルの武術と音楽が融合した「カポエイラ」を体験しよう!
2017.5.18	地域コミュニティ言語講座「ビジネス中国語」が始まります!
2017.5.19	地域コミュニティ言語講座「医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル講座」のお知らせ
2017.5.22	5/31(水)12:05~13:00 第3回グローバルセミナーのお知らせ
2017.5.29	★iCoToBa で留学生 iContact(中国語)をしませんか?★
2017.6.6	地域コミュニティ言語講座「医療現場で役立つスペイン語入門講座」のお知らせ
2017.6.7	6月21日(水)12:05~17:00 iCoToBa イベント"スペイン語の日"のお知らせ
2017.6.19	レシテーション大会とは?
2017.6.19	レシテーション大会の説明会について
2017.6.20	6/7(水)12:05~12:45 第4回グローバルセミナーのお知らせ
2017.6.22	7/5(水)12:05~13:05 第6回グローバルセミナーのお知らせ
2017.6.22	英語 e-Learning「ALC NetAcademy NEXT」利用説明会のお知らせ
2017.6.22	【iCoToBaイベント】アメリカ・中国の食生活を知ろうのお知らせ
2017.6.28	外国語でのおもてなしボランティア募集!
2017.7.10	7/19(水)12:05~13:00 第7回グローバルセミナーのお知らせ
2017.7.10	8/7(月)からスタート!iCoToBa サマーコースのお知らせ
2017.7.11	【iCoToBa イベント】7/14(金)スウェーデン文化イベントのお知らせ
2017.7.12	9/2(土)13:00~16::30 グローバル人材育成セミナーのお知らせ
2017.7.18	5/8(月)12:05~毎週開催!! 留学報告会のお知らせ
2017.7.28	夏休み中の iCoToBa 開室時間について
2017.8.2	【申込期間延長】iCoToBa サマーコース受講申込について
2017.8.7	8月7日(月)は午後から閉室します

更新日	タイトル
2017.8.21	9/24(日)グローバルユース塾開催のお知らせ
2017.9.5	第8回西日本地区中国語歌唱コンクールのお知らせ
2017.9.13	【9/14(木)説明会実施】運営・通訳スタッフ募集のお知らせ
2017.9.19	10/4(水)12:05~13:00 第8回グローバルセミナーのお知らせ
2017.9.25	2017年度後期の iCoToBa 外国語科目の受講申込を開始しました!
2017.9.25	地域コミュニティ言語講座「教育分野ポルトガル語入門講座」のお知らせ
2017.9.25	地域コミュニティ言語講座「エキスプレス韓国語講座」のお知らせ
2017.10.4	2017 年度 TOEIC-IP 受験補助について
2017.10.4	地域コミュニティ言語講座「医療現場で役立つスペイン語入門講座その 2」について
2017.10.4	2017年度後期iCoToBa「留学前準備講座」
2017.10.11	10/18(水)12:05~12:50 第9回グローバルセミナーのお知らせ
2017.10.19	11/8(水)12:05~12:50 第 10 回グローバルセミナーのお知らせ
2017.11.15	11/22(水)12:05~12:45 第 11 回グローバルセミナーのお知らせ
2017.11.20	地域コミュニティ言語講座「介護分野ポルトガル語入門講座」について
2017.11.22	12/13(水)12:05~12:50 第 12 回グローバルセミナーのお知らせ
2017.12.14	12/20(水)12:05~12:50 第 13 回グローバルセミナーのお知らせ
2017.12.15	1月20日(土)13:00~17:00 災害時外国人支援ボランティア研修のお知らせ
2017.12.21	1/10(水)12:05~12:50 第 14 回グローバルセミナーのお知らせ
2018.1.12	★後期も10/9(月)から毎週月曜日開催!留学報告会のお知らせ★
2018.1.12	1/17(水)12:10~14:50 第 15 回グローバルセミナーのお知らせ
2018.1.19	iCoToBa 春季講座「TOEFL iBT スタート講座」 開講のお知らせ
2018.1.19	1/24(水)12:10~12:50 第 16 回グローバルセミナーのお知らせ
2018.1.22	2/18(日) NIC Global Youth Day のお知らせ

10 資料

10.1 iCoToBa 学部·学科別利用者一覧(平成 29 年 4 月~12 月)

[表 16 iCoToBa 利用状況(外国語学部生)]

入学年度				外国語学	普		
八十十尺	英米	フランス	スペイン	ドイツ	中国	国際関係	計
2017	495	72	248	392	97	449	1,753
2016	116	101	87	73	147	33	557
2015	44	12	119	73	19	10	277
2014	11	31	109	42	21	23	237
2013 以前	24	11	60	23	3	7	128
計	690	227	623	603	287	522	2,952

(人数はのべ数)

[表 17 iCoToBa 利用状況(外国語学部以外の学生)]

	日本文	化学部	教育福	祉学部	看護	情報		*交換	
入学年度	国語 国文	歴史 文化	教育 発達	社会 福祉	学部	科学 学部	大学院	留学生	計
2017	23	41	4	14	64	0	34	352	532
2016	13	9	0	3	0	40	8	11	84
2015	0	1	6	20	2	7	0	0	36
2014	5	3	1	0	0	29	0	0	38
2013 以前	0	2	0	0	0	0	0	0	2
計	41	56	11	37	66	76	42	363	692

※海外学術交流協定大学からの特別聴講学生を指す (人数はのべ数)

10.2 iCoToBa 開講授業一覧

授業について、表内の「レベル」はヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference: CEFR)によるものである。それぞれのレベルの目安は、A1:初級、A2 初中級、B1:中級、B2:中上級、C1:上級である。

[表18 2017年度前期iCoToBa開講授業一覧]

科目名称	各言語科目名称	レベル	受講 者数
TOEIC クリニック 1	TOEIC Clinic 1	All Levels	27
TOEIC クリニック 2	TOEIC Clinic 2	All Levels	34
TOEIC クリニック 3	TOEIC Clinic 3	All Levels	24
iCoToBa 上級コース:ちなみに「グローバル」って何? 上級 CLIL コース	iCoToBa Advanced Course: What is Global, Anyway? Advanced Topic CLIL Course	B2-C1	4
生きた英語発音 1 新入生・初級生対象	Pronunciation Profiles1 Fun Class for New Students and Beginners	A1-B1	23
生きた英語発音 2 新入生・初級生対象	Pronunciation Profiles2 Fun Class for New Students and Beginners	A1-B1	11
日本コンテンツ文化英訳 プロジェクト: サブカルチ ャー翻訳コース	Japan Contents Culture Translation Project Subculture Translation Course	B1-C1	3
プレゼンテーションチュ ーンアップ:学会発表の 英語プレゼンテーション 講座	Presentation Tune Up English Academic Presentation Workshop	All Levels	28
上手な英語論文の秘密: 英語論文基礎講座	The Secret to Good Writing in English English Aacademic Writing Workshop	All Levels	20
英会話:基本へ立ち返る:英語コミュニケーション講座	English: Back to Basics English Communication Workshop	A1-B1	47
映画で英語を上手に 協定大学派遣前講座(ア カデミックスキル)	Talking Better with Movies Pre-Study Abroad Course (Academic Skills) 2	B1-B2	13

実際に使える大学ディス カッションスキル:協定大 学派遣前講座(アカデミ ックスキル)	Real-Life Academic Discussion Skills Pre-Study Abroad Course (Academic Skills) 1	B1-B2	16
記事作成応援作文講座: 学生共同プロジェクト	Advertising Writing Support Writing Workshop	B1-C1	7
iCoToBa イベントプランニ ングセッション	iCoToBa Event Planning Sessions iCoToBa Intercultural Workshop	All Levels	7
アングラ東海 PR 推進プロジェクト: PBL 型地方アクションコース	Underground Tokai PR Project PBL-Based Local Action course	A2-B2	7
フランスの生活を始めましょう!	Allons en France	A2-B1	7
スペインやメキシコ、ペル ーなどへの留学のための スペイン語講座	Preparación en Español para Estudiar en España, México Perú, etc.	A2-B2	6
留学前準備講座	Vorbereitung auf das Auslandsstudium	A2	13
中国事情を語る	留学之前话中国	A2-B1	11

[表19 2017年度後期iCoToBa開講授業一覧]

科目名称	各言語科目名称	レベル	受講 者数
TOEIC クリニック 1	TOEIC Clinic 1	All Levels	14
TOEIC クリニック 2	TOEIC Clinic 2	All Levels	15
TOEIC に役立つボキャブ ラリー	Useful Vocabulary for TOEIC	All Levels	21
iCoToB 上級コース:どんな「私たち」を想像している?:多様的な社会の可能性上級 CLIL コース	iCoToBa Advanced Course: Diversity and the Social Imagination Advanced Topic CLIL Course	B2-C1	11
TEDトーク:リスニングとディスカッション 協定大学 派遣前講座(学術スキル) 2	TED Talks: Listening and Discussion Pre-Study Abroad Course (Academic Skills) 2	B1-B2	7
日本を英語で解釈しましょう! 文化・翻訳コース	Explain Japan in English Cultural Translation Course	B1-C1	1

プレゼンテーションチュー ンアップ:学会発表の英 語プレゼンテーション講 座	Presentation Tune Up English Academic Presentation Workshop	All Levels	1
英語文章の上級パターン ワークショップ:英語論文 基礎講座	Advanced Sentence Patterns Workshop English Academic Writing Workshop (Short Course)	All Levels	4
英会話:基本へ立ち返る: 英語コミュニケーション講 座	English: Back to Basics English Communication Workshop	All Levels	12
映画で英語学習 独学スキルワークショップ	Study English with Movies Self-Study Skills Workshop	A2-B2	10
実際に使えるカジュアル 英語:新入生・初級生向 けの楽しいコース	Real-Life Casual English Fun Class for New Students and Beginners	A2-B1	23
実際に使える大学ディス カッションスキル:協定大 学派遣前講座(アカデミッ クスキル)	Real-Life Academic Discussion Skills Pre-Study Abroad Course (Academic Skills) 1	B1-B2	4
広告制作応援作文講座 学生共同プロジェクト	Advertisement Writing Support Writing Workshop (Short Course) [Collaborative Project Writing Support]	B1-C1	10
iCoToBa イベントプランニ ングセッション異文化ワー クショップ	iCoToBa Event Planning Sessions iCoToBa Intercultural Workshop	All Levels	11
県大・DMO 共同プロジェ クト、高大連携プロジェク ト・PBL (PBL 型地方アク ションコース)	APU / DMO Collaborative Project High-School / College Collaborative PBL PBL-Based Local Action course	B1-C1	6
フランスの生活を始めましょう!	Allons en France	A2-B1	4
スペインやメキシコ、ペル ーなどへの留学のための スペイン語講座	Preparación en Español para Estudiar en España, México Perú, etc.	A2-B2	1
留学前準備講座	Vorbereitung auf das Auslandsstudium	A2	5
中国事情を語る	留学之前话中国	A2-B1	7
留学前準備講座 韓国での生活	iCoToBa 유학 전 준비강좌 한국에서의 생활	A2-B1	5

[表 20 2017 年度 iCoToBa 地域コミュニティ言語講座一覧]

	<i>y</i> a.
科目名称	受講者数
医療現場で役立つスペイン語入門講座	9
医療現場で役立つスペイン語入門講座2	1
医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座	13
教育分野ポルトガル語入門講座	5
介護分野ポルトガル語入門講座	不開講
医療看護を学ぶ人のための入門ポルトガル語講座(守山キャンパス)	3
ビジネス中国語入門講座	5
エキスプレス韓国語講座	13

[表21 2017年度iCoToBaサマープログラム開講授業一覧]

科目名称	各言語科目名称	レベル	受講 者数
上手な英語論文の秘密 英語論文基礎講座	The Secret to Good Writing in English English Aacademic Writing Workshop	All Levels	5
プレゼンテーションチュー ンアップ 学会発表の英語プレゼン テーション講座	Presentation Tune Up English Academic Presentation Workshop (Short Course)	All Levels	6
英会話:サマー・リフレッシャー・コース:英語コミュニケーション講座	English Convsersation Basics: Summer Refresher English Communication Workshop	All Levels	25
TOEFL リスニングテスト対 策講座	TOEFL Intensive: Listening for Exams	All Levels	3
TOEFL リーディングテスト 対策講座	TOEFL Intensive: Reading for Exams	All Levels	3
TOEFL スピーキングテスト 対策講座	TOEFL Intensive: Speaking for Exams	All Levels	7

[表22 2017年度iCoToBaスプリングプログラム開講授業一覧]

科目名称	各言語科目名称	レベル	受講 者数
TOEFL リーディング・スタート講座	TOEFL Reading Start up	All Levels	3
TOEFL リスニング・スタート講座	TOEFL Listening Start up	All Levels	3
TOEFL ライティング・スタート講座	TOEFL Writing Start up	All Levels	3

10.3 iCoToBa 授業アンケート集計結果

FD 活動の一環として、前期・後期の iCoToBa 開講授業において授業アンケートを行った。アンケート項目は、1)学生自身の学習について、2)授業および担当教員についての2部構成である。以下では、2)授業および担当教員についての集計結果を掲載する。回答はそれぞれの項目で1~5点で点数化している。

「質問項目〕

- 01. 授業概要や学期開始時の授業に関する説明は、わかりやすかったですか。
- O2. 授業概要や学期開始時に説明された授業の目的は授業で達成されていたと思いますか。
- O3. 教員の話し方、説明の仕方はわかりやすかったですか。
- O4. 教材(教科書、配布物など)は、有用でしたか。
- Q5. ホワイトボードへの板書、パワーポイントなどのスライドは見やすかったですか。
- Q6. 教員は学生の反応や理解度・到達度に留意しながら授業を進めていましたか。
- Q7. 教員は、一方的な説明だけでなく、質問、発言、発表など学生の積極的な参加を促しましたか。
- O8. 教員の授業への意欲・熱意は感じられましたか。
- O9. この授業によって、もっと上達したい、もっと学びたいという気持ちになりましたか。

[表23 2017年度前期開講iCoToBa授業アンケート結果]

科目名	担当	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
TOEIC Clinic 1	Brett HACK	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	4.5	5.0
TOEIC Clinic 2	Brett HACK	5.0	5.0	5.0	4.5	5.0	5.0	5.0	4.5	5.0
TOEIC Clinic 3	Brett HACK	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	4.7	5.0

	I	1	1		1	1	1	1	1	1		
iCoToBa Advanced Course:	Brett											
What is Global, Anyway?	HACK	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.7	5.0	5.0	5.0		
Advanced Topic CLIL Course	micic											
Pronunciation Profiles1	Brett											
Fun Class for New Students and	HACK	4.9	4.7	4.9	4.4	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7		
Beginners	HACK											
Pronunciation Profiles2	Brett											
Fun Class for New Students and	HACK	4.9	4.7	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9		
Beginners	паск											
Japan Contents Culture	D 44											
Translation Project	Brett	5.0	4.0	4.0	3.0	3.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
Subculture Translation Course	HACK											
Presentation Tune Up	D											
English Academic Presentation	Brett	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0		
Workshop	HACK											
The Secret to Good Writing in	ъ											
English English Aacademic	Brett	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0		
Writing Workshop	HACK											
English: Back to Basics												
English Communication	Brett	4.7	4.7	5.0	5.0	5.0	4.7	5.0	4.7	4.7		
Workshop	HACK											
Talking Better with Movies												
Pre-Study Abroad Course	Brett HACK 4.8			4.8	4.5	5.0	5.0 4.7	7 4.7	4.8	4.8	5.0	4.8
(Academic Skills) 2												
Real-Life Academic Discussion												
Skills	Brett											
Pre-Study Abroad Course	4	HACK 4.6	4.6 4.	4.5	4.9	4.9 4.7	4.7	4.9	4.9	4.6	4.7	
(Academic Skills) 1												
iCoToBa Event Planning Sessions	Brett											
iCoToBa Intercultural Workshop	HACK	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	4.8	4.8	4.8		
Underground Tokai PR Project	Brett											
PBL-Based Local Action course	HACK	4.9	4.8	4.9	4.6	4.8	5.0	5.0	4.9	5.0		
	Frédéric	4.5										
フランスの生活を始めましょう	ンスの生活を始めましょう Chaboud		4.5	5.0	5.0	4.0	4.5	4.5	5.0	4.5		
スペインやメキシコ、ペルーなどへ	Sergio											
の留学のためのスペイン語講座 Neri		4.5	4.8	5.0	4.8	4.8	5.0	4.8	4.8	4.8		
	Martin				3.8 3.0	4.0	4.0	4.5	4.5			
留学前準備講座	Niers	3.5	3.0	3.8						3.8		
 中国事情を語る	劉平	4.3	4.3	4.7	4.7	5.0	4.7	5.0	4.3	4.3		
I H T III C HI O	75.1			,	,	2.0	,	2.0				

[表24 2017年度後期開講iCoToBa授業アンケート結果]

科目名	担当	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	Q7	Q8	Q9
TED Talks: Listening and	Brett									
Discussion Pre-Study Abroad	HACK	4.6	5.0	4.2	4.2	4.8	5.0	4.8	4.8	5.0
Course										
TOEIC Workshop	Brett	4.7	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
Useful Vocabulary for TOEIC	HACK									
Advanced Sentence Patterns	Brett	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
Workshop	HACK									
English: Back to Basics	Brett									
English Communication	HACK	5.0	4.5	5.0	4.8	4.5	4.8	4.8	4.8	4.8
Workshop	11.1011									
Advertisement Writing Support	Brett	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
Writing Workshop	HACK	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
APU / DMO Collaborative Project										
High-School / College	Brett	4.6	4.6	4.8	4.8	5.0	5.0	4.8	4.8	4.8
Collaborative PBL	HACK	4.0	4.0	4.0	4.6	3.0	3.0	4.0	4.0	4.0
PBL-Based Local Action course										
Explain Japan in English	Brett	5.0	4.0	5.0	3.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0
Cultural Translation Course	HACK	5.0	4.0	5.0	3.0	4.0	5.0	5.0	3.0	3.0
iCoToBa Advanced Course:										
Diversity and the Social	Brett	4.0	4.0	.	4.0	4.0	5 0	.	4.0	7 0
Imagination	HACK	4.9	4.9	5.0	4.9	4.9	5.0	5.0	4.9	5.0
Advanced Topic CLIL Course										
iCoToBa Event Planning	-									
Sessions	Brett	5.0	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
iCoToBa Intercultural Workshop	HACK									
Real-Life Casual English	D									
Fun Class for New Students and	Brett	4.7	4.6	4.8	4.7	4.6	4.8	4.9	4.8	4.9
Beginners	HACK									
	Brett									
Study English with Movies	HACK	4.9	4.4	4.9	5.0	4.7	4.9	4.9	4.9	4.9
Real-Life Academic Discussion	Brett	5.0	5.0	5.0	4.7	5.0	5.0	5.0	5.0	
Skills	HACK	5.0	5.0	5.0	4.5	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	Frédéric	2 ^	2 ^	. .	5 ^	4.0	- ·	
フランスの生活を始めましょう	Chaboud	3.0	3.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0	5.0	5.0
スペインやメキシコ、ペルーなどへ	Sergio	- ·	. .	5 ^	5 ^	5 ^	- ·	. .	5 ^	
の留学のためのスペイン語講座	Neri	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

留学前準備講座	Martin Niers	3.8	3.8	3.8	3.3	3.3	4.0	4.5	3.8	3.8
中国事情を語る	劉平	4.8	4.8	5.0	4.8	5.0	4.6	4.8	4.8	4.8
韓国での生活	李 廷	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0

2017 年度 iCoToBa 地域コミュニティ言語講座アンケート集計結果

[質問項目]

- Q1. この講座の担当教員の説明は、わかりやすかったですか。
- Q2. この講座を通して、学習言語を話す人々やコミュニティについて理解が深まりましたか。
- Q3. この講座を通して地域に住む外国人について興味を持ちましたか。
- Q4. この講座を通して、将来外国人とコミュニケーションできる自信を持てましたか。 (日本語・外国語のどちらででも)
- Q5. この講座によって、もっと外国語を学びたいという気持ちになりましたか。
- Q6. このような内容の講座があったら、もう一度学びたいですか。

[表25 2017年度地域コミュニティ言語講座アンケート結果]

科目名	担当	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6
医療現場で役立つスペイン語入門講座 1	Serigio Neri	4.3	4.7	4.5	4.2	4.7	4.7
医療現場で役立つスペイン語入門講座 2	Serigio Neri	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0
医療看護を学ぶ人のための入門 ポルトガル語講座	宮坂 ヘジーナ	4.9	4.9	5.0	4.4	5.0	5.0
医療看護を学ぶ人のための入門 ポルトガル語講座(守山)	宮坂 ヘジーナ	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	5.0
教育分野ポルトガル語入門講座	宮坂 ヘジーナ	4.8	5.0	5.0	4.8	5.0	4.8
ビジネス中国語入門講座	李 娟	5.0	5.0	5.0	4.0	4.7	4.7
エキスプレス韓国語講座	李 廷	5.0	4.6	5.0	3.8	4.6	4.8

10.4. iCoToBa 施設訪問者

[表 26 2017 年度 iCoToBa 施設訪問者]

	し表 26 2017 年度 iCoToBa 施設訪問者」			
月日	所属•氏名			
5月9日	岐阜薬科大学学長 稲垣隆司 氏			
37174	一般社団法人中部経済連合会専務理事 小川正樹 氏			
	シベリア連邦大学			
	経済経営学部長 ブハーロヴァ・エヴゲーニヤ 氏			
	法学部国際関係学科長 シードロヴァ・タチヤーナ 氏			
	研究教員採用部部長 ガールマシ・アナスタシーヤ 氏			
	シベリア連邦大学・Toyota Engineering Corporation (TEC)研修センター			
	所長 ドラニーシニコフ・セルゲイ 氏			
	シベリア国立宇宙飛行大学国内・国際経済学部長 マラーニナ・ユーリヤ 氏			
	クラスノヤルスク国立医科大学			
	副学長(学務担当) ニクーリナ・スヴェトラーナ 氏			
	副学長(法務担当) クレショーヴァ・オクサーナ 氏			
5月24日	医療・薬学部部長 セリューティナ・ガリーナ 氏			
	クラスノヤルスク地方立病院院長 コルチャーギン・エゴール 氏			
	日本車部品販売会社「サクラ・モーターズ(Sakura Motors)」社長			
	タルタコーフスキー・アナトーリー 氏			
	有限責任会社多業種企業「OOO スタイル(Стиль)」社長			
	ミハイール・シャピーロ氏			
	「東シベリア森林経営計画」二級技師 コソラーポフ・フョードル 氏			
	言語サー ビス・ビジネスコンサルティングセンター「ヒエログリフ」所長			
	ロマーエヴァ・マリーナ氏(通訳担当)			
	愛知県議会議員日ロ友好愛知の会			
	理事 黒田太郎 氏 専務理事 高木浩司 氏 副理事長 小島丈幸 氏			
	愛知県 県民総務課			
5月26日	小林課長、市川課長補佐、岡田主任主査、藤原主事			
	あいち健康づくり事業団			
6月13日	山川理事、丸山常務理事、大久保氏			
	東海東京フィナンシャルホールディングス株式会社			
10月25日	代表取締役副社長 前園浩 氏 人事企画部 山﨑香林 氏			
10 / 1 23 🖂	東海東京証券株式会社 CSR 推進部 尾野朱梨 氏			
	大垣共立銀行 取締役支店部長 野上匡行 氏			
11月2日				
11月7日	特別委員会委員(県会議員) 15名 県庁職員 11名			
	ほか愛知県立大学法人および愛知県立大学職員 21名			

10.5. 高等学校の iCoToBa 施設見学

[表27 2017年度iCoToBa訪問者(高等学校関係)]

月日	学校名•学年	訪問者数					
		生徒	教諭	PTA	合計		
4月27日	岐阜県立可児高校	42	2		44		
4月28日	三重県私立鈴鹿高校	96	1		97		
5月11日	岐阜県立各務原高校	79	4		83		
5月24日	愛知県立尾北高校	41	2		43		
5月31日	愛知県立一色高校	37	2		39		
6月7日	愛知県立鶴城丘高等学校	52	3		55		
6月8日	愛知県立武豊高等学校	40	2		42		
6月12日	愛知県立知多翔洋高等学校	40	2		42		
6月13日	長野県赤穂高等学校	41	2		43		
6月20日	岐阜県立多治見高等学校	0	3	95	98		
6月22日	愛知県立熱田高等学校	0	0	23	23		
6月26日	愛知県知立高等学校	0	2	48	50		
6月29日	名古屋市立桜台高等学校	0	4	85	89		
7月4日	愛知県立千種高等学校	0	2	83	85		
7月6日	静岡県立榛原高等学校	0	2	35	37		
7月10日	愛知県立成章高等学校	133	3		136		
7月12日	愛知県立知立東高等学校	42	2		44		
10月13日	静岡県立島田高等学校	43	2		45		
10月19日	愛知県立犬山高等学校	80	2		82		
10月20日	愛知県立豊橋南高等学校	40	3		43		
10月24日	愛知県立岡崎西高等学校	41	2		43		
10月26日	岐阜県立関高等学校	46	2		48		
	計 22 校	893	49	369	1,311		

10.6. グローバル実践教育推進室会議

[表 28 平成 29 年度グローバル実践教育推進室会議開催一覧]

回 回	開催日	年度クローハル夫践教育推進至会議開催一覧」 主たる審議・報告事項
<u> </u>	州准口	グローバル実践推進室名簿について
		年間スケジュールについて
第1回		TOEFL講座開講案について
		地域コミュニティ言語講座開講案について
	4月27日	グローバルセミナー(仮称)について
		留学生 iContact 計画について
		アルバイト雇用について
		イベント企画募集について、留学報告会計画について
		iCoToBa 前期開講授業・開室時間について
		iCoToBa Facebook の運用について
		地域コミュニティ言語講座の追加について
		東海東京財団助成金の使途について
	5月25日	iCoToBa における講習会等の参加用件について
第2回		地域コミュニティ言語講座(ポルトガル語)開講日程の変更
		について、グローバルプログラムの案内動画について、文化
		イベント(スペインの日)について、「世界青少年発明工夫
		展」学生ボランティア派遣について
		平成 29 年度後期 iCoToBa 開講計画(英語講座、留学前準
		備講座、地域コミュニティ言語講座)
		高大連携プロジェクトについて
		後期留学生 iContact 募集について
## 2 E	7 7 24 7	TOEIC-IP 受験補助に関するルールについて
第3回	7月24日	iCoToBa における語学講座の担当者依頼方法について
		夏季休暇中の iCoToBa 授業計画、開室時間
		前期報告:iCoToBa 開講科目、グローバルセミナー、
		iContact、留学報告会、イベントiCoToBa 利用者数
		オープンキャンパス 2017
		平成 29 年度前期成績認定について
		大学ウェブサイトへの情報開示の範囲について
第4回		後期グローバルセミナー講師依頼について
	9月27日	iCoToBa における語学講座の担当者依頼方法について
		高大連携プロジェクトについて
		前期授業アンケート結果、TOEFL 講座報告
		世界子ども発明工夫展ボランティア報告
]	E71 1 C U7171-70/18/17 / 17 TK H

第5回	12月1日~	助成金による TOEIC 受験補助の追加募集について
(メール会議)	5 目	
第 6 回	12月18日	グローバル実践教育プログラム履修規定第2条の改正について(案)、芸大生のiCoToBa語学講座の受講について、平成30年度当初予算について、DMOプロジェクト成果発表会について、学内英語統一テストTOEIC受験助成金申込状況、今後のグローバルセミナースケジュール、平成29年度グローバル実践教育推進事業における助成金に係る収支、使途及び事業結果等の書類提出について
第7回 (メール会議)	1月19日~23日	iCoToBa「留学前準備講座」非常勤講師の委嘱と時間割について
第8回	2月15日	平成29年度後期成績認定について、平成30年度iCoToBa 開講科目、時間割、地域コミュニティ言語講座開講案、平成 29年度東海東京財団助成金使途報告、平成30年度助成 金申請、平成29年度後期授業アンケート結果報告

10.7. グローバル実践教育推進室

室長 熊谷 吉治(教養教育センター長、英米学科)

副室長宮谷 敦美(国際関係学科)外国語学部森田 久司(英米学科)日本文化学部若松 伸哉(国語国文学科)教育福祉学部丸山 真司(教育発達学科)看護学部片平 正人(看護学科)情報科学部田 学軍(情報科学科)グローバル実践教育推進室ブレット ハック(iCoToBa)

学務課部長代理 木下 圭一郎

学務課主事 酒井 麻衣(教養教育センター担当)

グローバル実践教育推進室 グローバル実践教育推進室 ガリーバル実践教育推進室 石川 博香(iCoToBa)

10.8. 2017 年度 iCoToBa イベントポスター









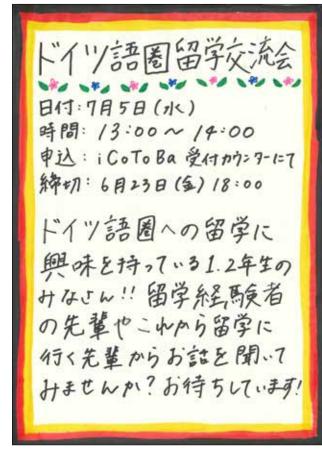






















Pers

ドイツのクリスマスについて みんなで楽しくきわめよう Weihnachtsparty in iCoToBa (iCoToBaでドイツ・クリスマス会) 日にち:12月13日(水) 参加費:100円(当日) 場所:iCoToBa 時間:13時~

12月11日 (月) までに iCoToBa受付で予約して、 当日参加費を持参してください。

参加する方法:



中部地域の中堅・中小企業の海外展開支援

グローバル・バジャス環境の数化と

第1回がカント

2017年度

香津美 高阪 スピーカー

(外国語学部国際関係学科 准教授)

 $12.05 \sim 13.00$ iCoToBa(予約不要 5月31日(水) 由市

|溢れています。そこで、このたびは、こうしたポルトガル語の学習意義 ポルトガル語」は本当に耳慣れない言葉なのでしょうか?皆さん、これ Linimo, façam a troca nesta estação. そうです、地下鉄東山線が藤が こついて、愛知県に暮らす外国人の中で最も高い割合を占めるブラジ をどこかで聞いたことはないですか?Os passageiros que utilizarão o 丘駅に到着する際の車内アナウンスです。実は、街にはポルトガル語 ル人の生活を追いながら考えます。

♡oToBaグローパルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食OKのカジュアルなセミナーです。 ーパル&グローカルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう

own fppt info



グローバルセミナー @iCoToBa 第2回 2017年度

Supporting children and young people with diverse backgrounds We are all allies:

みんな仲間だよ-多様な背景を持つ子どもと若者の支援 ーカー アンドレア・カールンン氏



吉治氏

※セミナーは、わかりやすい英語を中心に進めます 5月17日(水曜日) 12:05~12:50 愛知県立大学教養教育センター教授、 iCoToBa (予約不要 出品 場所

様々な文化的背景を持った国内在住の子どもと若者への社会的・心的サポートに関わる諸問題と、みんなが仲間として助け合うことの大切さについて、アンドレア・カールソン先生にお話しいただきます。英語&子とも&ボランティアに興味がある人、ぜひ参加して、英語の表現を学びながらアンドレア先生と意見を交換しましょう。

icoroвaグローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食Okのカジュアルなセミナーです。 グローバル&グローカルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう!

英語発音上達法 2017年度 第4回 グローバルセミナー @iCoToBe (と嬉しい) (外国語学部 英米学科 教授 熊谷 語を専攻しない人にも役立つ スピーカー | |

6月7日(水曜日) 12:05~12:45 iCoToBa(予約不要) 日時場所 英語の発音を習ったり、自分の発音を誰かにチェックしてもらったりした経験はありますか? そのような機会が少なくても、無理なく英語の発音を改善するコツはあります。細かい(ローカルな)重要<mark>点に少しだけ触れた後、発したメッセージ全体が英語らしく聞こえる(その意味ではグローバルな)発音のコツ</mark>

icoroвaグローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食0Kのカジュアルなセミナーです。 グローバル&グローカルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう!

2017年度 第7回 グローバルセミナー @iCoToBa

2017年度 第5回 グローバルセミナー @iCoToBa

グローバル時代の終わりの始まり?



織用 眨 愛知県立大学 高電

7月19日(水曜日) 12:05~13:00 iCoToBa(予約不要 グローバル化が進む一方で、世界では「内向き」といわれる動きも見えています。これから世界情勢はどのようにすすんでいくのか、近現代史におけるナショナリズムとグローバリズムを簡単に振り返った後、昨年の英国のEU離脱、米国の大統領選挙、今年のフランス大統 そしてイタリアでのG7を取り上げながら、グローバル時代の行方について考えま ムを簡単1領選挙、

icotoBaグローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食OKのカジュアルなセミナーです。 グローバル&グローカルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう!

2017年度 第8回 グローベルセミナー @iCoToBa

- オンラインコース たの試みを中心に ブラジルで日本語・日本文化を教える



スピーカー Sarah Longatto Fuidio氏 (Mirai Idiomas経営者)

iCoToBa(予約不要) 10月4日(水曜日) $12.05 \sim 13.00$ 場所 盤田

<mark>グローバ</mark>ル化が進む中、日本語を学ぶ外国人も増えています。県大を卒業し、現在母国のブラジルで 日本語のオンラインコースを経営するサラさんに、ブラジルでの日本語学習熱、またブラジル人学習者

iCoToBaグローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食OKのカジュアルなセミナーです。 グローバル&グローカルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう!

への教え方の工夫などお話いただき、参加者みなでこれからの日本語教育について考えます。

数在住し、自動車産業をはじめとする製造業を下支えしています。そして2008 年のリーマンショック後は、デカセギではなく定住者として生活しています。 私たちはそうした日系人の異なる文化的背景を理解し、算量するだけでなく、 お互い「住みよい共生社会を作り上げなくてはなりますん。 この講演では東海地方の行政や、本学において行われているスペイン語や ポルドガル語による生活支援、及びその課題を紹介すると同時に、今、私たち に何ができるか考えてみたいと思います。 iCoToBaグローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食OKのカジュアルなセミナーです。 グローバル&グローカルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう! 990年の入国管理法改定を契機に、東海地方には中南米出身の日系人が多 (ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 教授) 6月21日(水曜日) 12:05~12:50 東海地方におけるスペイン語生活支援 iCoToBa(予約不要) スピーカー 田中敬一氏 出田 場所

(教育福祉学部社会福祉学科 教授) 2017年度 第6回 グローバルセミナー @iCoToBa 一在日朝鮮人学生と一緒に訪問して考えたこと スピーカー 山本 かほり氏 朝鮮民主主義人民共和国への修学旅行 7月5日(水曜日 $12:05 \sim 13:05$ 出田

鮮学校って聞いたことがありますか?在日朝鮮人の子どもたらが通う学校です。でも、そもそも在日朝鮮人っ どれなんだうかでもに、朝鮮民主主義人民共和国(開鮮が化火が空間が強してかたことがありますか? 回のセミナーでは、朝鮮高校生の棒学旅行ー前鮮に2週間行きます!一に同行調査し、前鮮高校生と一緒に に 感じた朝鮮についてお話します。少しでも「北朝鮮」のイダージを相対化するきつかけになれば幸いです。

iCoToBa(予約不要)

場所

2017年2月の平壌訪問で、現地の受入機関の人たちに誕生日のお祝いをしてもらいました。いただいたケーキを前にご機嫌の

ました。いただいたケーキ 私です。(平壌ホテルにて)

(OoToBaグローバルセミナーは、毎月2回水曜日の昼に開催する飲食OKのカジュアルなセミナーです。 グローバル&グローカルな話題について、学部や専門を超えて話しましょう!









~外務省の業務を中心に

ハーグ条約の概要と実際

外務省領事局ハーグ条約室 ハーグ条約専門員(臨床心理士)

志保氏

こっとん

ーカー

Х Г

2017年度 第15回 グローバルセミナ



スペイン値カナリア諸島グラン・カナリア島のテルデーにある日本国験法9条の縁の前の

「国際結婚」だけでなく「国際離婚」について、みなさんは考えたことはありますか。 離婚する 夫婦の間に子どもがいたら? 子 今回は、外務省領事局ハーグ条約室で専門家として勤務し ている臨床心理士の方を講師としてセミナーを開催します。

どもはどこに誰と住むのでしょう?

「ハーグ条約 (Hague Convention)」を知っていますか?

13:10~14:00 グローバル・ディスカッション

*どちらか一方のみの参加も可

場所 H203

12:10~13:00 グローバルセミナー

1月17日(水曜日)

地域コミュニティ言語講座@iCoToBa

地域コミュニティ言語講座@iCoToBa

世

Comunicación Básica con pacientes de habla hispana en hospitales japoneses

医療現場で役立

はじめてスペイン語を 学ぶ入も大歓迎! 時:6月23日、30日、7月7日、14日、21

Ш

(金曜日5限 16:10~17:40)

ビジネス中国語入門講座まの1

(月曜日 16:10~17:40) 6月12日、19日、26日、7月3日、10日

G201数室 教室

教室:iCoToBa Activity Space 担当:セルヒオ・ネリ先生

婦(ツ・けん) 先件 ₩· 加

している企業に就職するかもしれないみなさん、中国語の発音や、実用表現など、生きた中国語を短期間で楽しい雰囲気で学びませんか。このほか、中国の文化やビジネス上の慣習、中国人の考え方などもとりあげます。中国語を学んだことのない人 今や中国人に出会わない職場はないくらい、日本と中国・台湾とのビジネス上のつながりが深くなっています。中国と取引を

もぜひ気軽に受講してください。 中国南京市出身。大学卒業後EPSONなどの日系企業で通訳業務や、日本で中国人研修生に日本語を教えるなど、国を超えたビジネス経験あり!

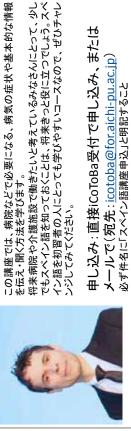
午後5時 (金曜日) ※申込期限:6月9日 申し込み:iCoToBa受付まで

 \odot

 \odot

S

٢



申し込み:直接iCoToBa受付で申し込み、また! メールで(宛先:<u>icotoba@for.aichi-pu.ac.jp</u>)

₩

※申込期限:6月19日(月曜日)17:00 必ず件名に「スペイン語講座申込」と明記すること 員:15名 侀

鞲座内容 アジネス中国語入門講座

講座では、中国語のフレーズを学び、簡単な会話を練習します。あわせて、実際に中国人と付き合うときの異文化コミュニケーションについて、(日本語で)話します。 それぞれの内容は独立しているので、毎回参加できない人でも気軽に受講できます。

中国語の発音 (6月12日) 部1回

[中国での食事] 自己絡介と名對交換 おしゃべりテーマ (6月19日) 第2回

おしゃべりテーマ 「初対面での会話の話題」 依頼する 時間について話す (6月26日)

第3回

「中国の漢字」

おしゃべりアーマ

「中国に行ったら」 事情を説明する おしゃべりテーマ (7月3日) 第4回

趣味について話す おしゃべりテーマ (7月10日)

第5回

「中国人が好きなこと」

学びましょう

もし、外国で病気になったらどうしますか? 具合が悪い時に、外国語で話すのはとても大変です。こんなとき少しでもあなたが手助けできるように、病院での会話を

ネリ先生からのメッセージ

拳先生からのメッセージ

皆さん、こんにちは。私は県大の卒業生です。この講座を通して、中国に興味を持っている学生のみなさんと、 大家好!我是一名县立大学毕业生。希望能借此讲座认识更多对中国有兴趣的朋友!

「中国語は難しい! 発音ができない!」ってよく言われます。もちろん、日本語にない音もあって、ちょっと難 しいと思いますが、絶対できないってことはありません。 いろんなお話をしたいです

一緒に、中国語を勉強して、中国の「あるある」を知りましょう。

[各回のテーマ] 第1回(6月23日) 第2回(6月30日) 第3回(7月7日) 第4回(7月14日) 第5回(7月21日) 中華料理の店の「福」の漢字は なぜ下向きなの?

「お名前を教えてください」 一 患者の基本情報を尋ねる

「痛みはありますか」一体の名称と痛みを説明する

「具合はどうですか」 一症状を訊く 「風邪ですね。」 一病気について説明する

すべきことを説明する 「何をしたらいいですか」

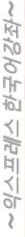




θ

iCoToBa受付まで!





時:10月11日、18日、25日、11月1日、8日 担当:李廷先生 (水曜日 13:00~14:30) 教室: G棟 206教室 Ш

なかったハングルが文字に見えるようになります。この講座では韓国旅行で ハングルは日本語と類似点が多く、語順が同じであり、発音も似ているので 他の外国語と比べ親しみやすいです。5回のミニ講座で、丸と棒にしか見え の買い物や病院、ホテルなどでのトラブルがあった時、また、日本で韓国人 と初対面の時の挨拶、自己紹介ができるよう、実際に使える韓国語をロー

申し込み:直接iCoToBa受付で申し込み、または ルプレイングを使って身につけます

※申込期限:10月13日(金曜日)17:00 メールで(宛先:icotoba@for.aichi-pu.ac.jp) 定員:16名



医療看護を学ぶ人のための 入門ポルトガル語講座

地域コミュニティ言語講座@守山キャンパス

10月25日、11月8日・15日・22日・29日(水曜日2限)

教室:守山キャンパス小講義室1

担当:宮坂ヘジーナ先生

愛知県には約5万人のブラジル人が暮らしており、すべての外国人の中で最 中、この講座では、言葉が通じない環境下で最も不安に感じるであろう「健康」に着目します。そして、ブラジル旅行や日本の医療現場で役立つ、健康 も高い割合を占めています。また、近年ワールドカップやオリンピックが開催 され、ブラジルに行ってみたいという人も多いのではないでしょうか。そんな



-pu.ac.jpへメールで申し込んでください。 ※申込期限:10月13日(金曜日)17:00 必ず件名に「ポルトガル語講座申込」と明記すること 定員:15名 ※申込期限:10月13日(金曜日)17:00 申し込み方法:icotoba@for.aich

や医療に関するポルトガル語の簡単な単語や表現 ミニ知識を様々なアクティビティを取り入れながら 楽しく学びます、

[各回のテーマ]

第1回(10月25日)「ブラジルで病気になったら・・・逆に外国人は日本でどうするの」 「病人に聞きたいこと」一症状を訊く。病気について説明する。 一外国で病気になった時の基本情報

第2回(11月8日)「病人に聞きたいこと」一症状を訊く。病気第3回(11月15日)「毎日のケアー」-すべきことを説明する第4回(11月22日)「病院の案内」-場所の聞き方第5回11月29日)「体を動かしましょう!」

一体の名称、エクササイズ

「トラブルがあったとき(病院で、警察で) 「道をたずねるとき、買い物で、食堂で」

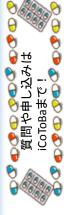
第2回(10月18日) 第3回(10月25日) 第4回(11月1日) 「 第5回(11月8日) 「

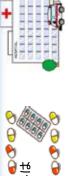
「ハングルの構成、歴史、自己紹介」 「基本的な決まり文句、韓国の歌」 「タクシーで、数字、ホテルで」

第1回(10月11日) [各回のテーマ]

ヘジーナ先生 ちっのメシセージ

とても大変です。こんなとき少しでもあなたが手助けできるように、病院での会話を学びましょう。「ポルトガル語って、難しそう!」と思っているあなた、試してみません ヒーが有名です。でもアイスコーヒはブラジルにはありません。知っていましたか? もし、外国で病気になったらどうしますか? 具合が悪い時に、外国語で話すのは 発見がいくつかあるかも知れませんよ、例えば:ブラジルと言えば、暑い国でコー か?この真裏側の国ブラジルに気楽に、楽しく、触れてみませんか?





質問や申込はiCoToBa受付まで

韓国を身近に感じるよう楽しい時間を作りますので、この機会にみなさん是非参加

るとうれしいです

してくだない。

5回の講座で言葉や文化を身につけることは難しいことだとは思いますが、この講 座をきっかけに韓国語や文化に興味を持って実際の場面で少しでも使えるようにな

「안녕하세요!!」「みなさんこんにちは!!」

く李先生からのメッセージン

92

iCoToBa 年報 第5号

グローバル実践教育推進室年報

2018 (平成 30) 年 3 月発行

発行:愛知県立大学 iCoToBa (多言語学習センター) 〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522-3 外国語学部棟 2 階

> Tel: 0561-76-8833 Fax: 0561-64-1107 e-mail: icotoba@for.aichi-pu.ac.jp http://www.for.aichi-pu.ac.jp/icotoba/

> > 印刷 株式会社 あるむ

iCoToBa Annual Report Aichi Prefectural University